

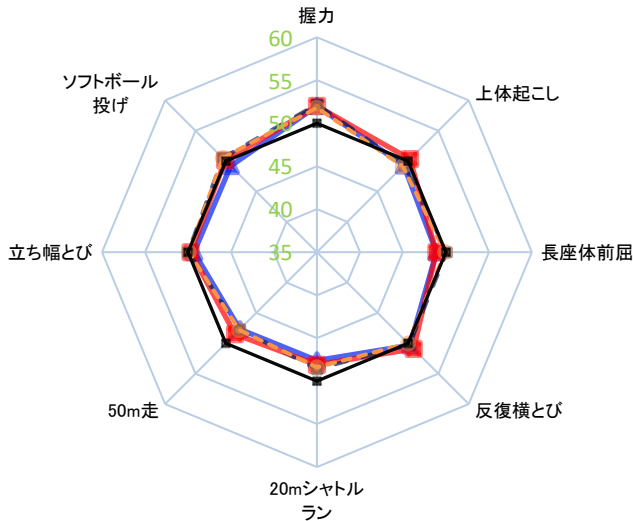
■ 旭川市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校52校・児童数2279名、中学校26校・生徒数2443名)

【各種目の状況】

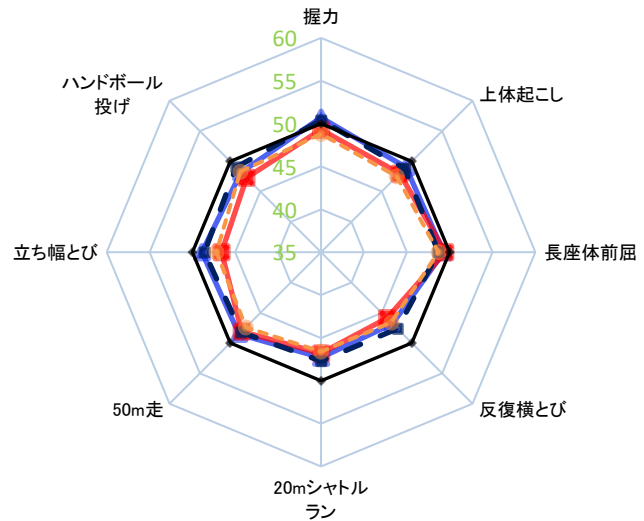
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



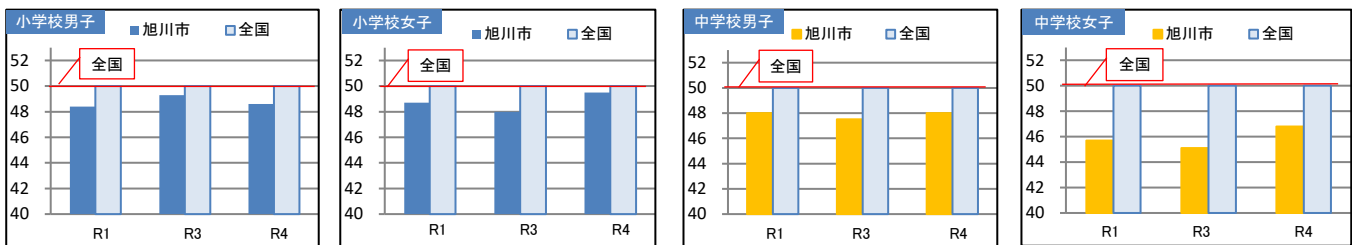
【小学校】



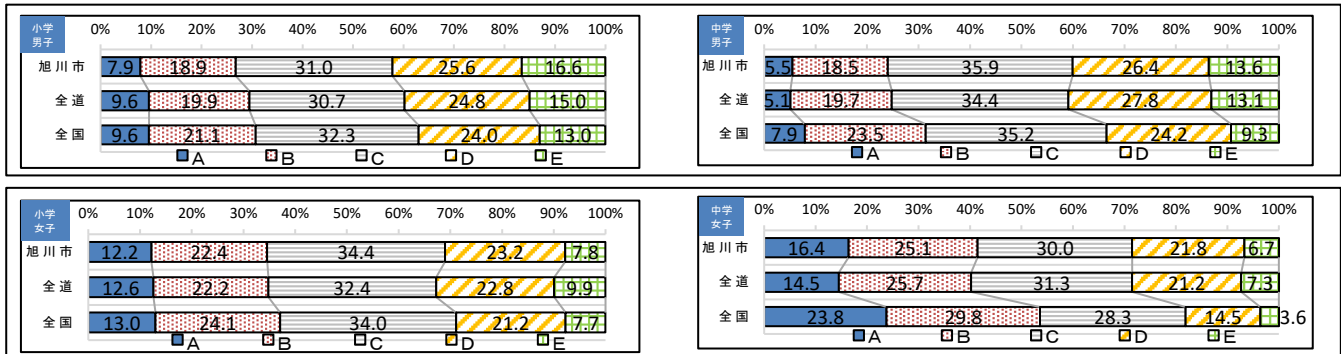
【中学校】



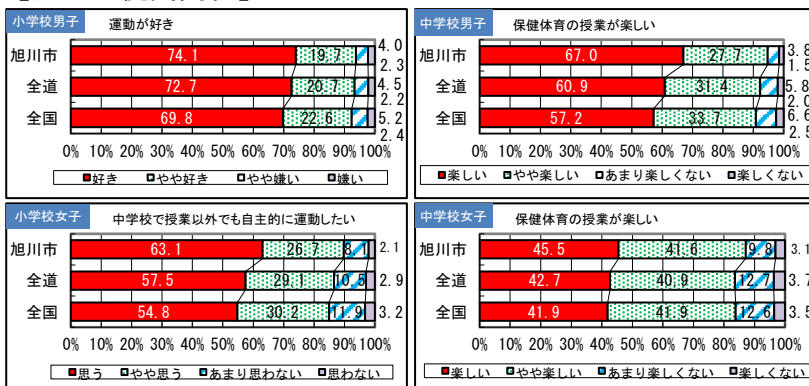
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



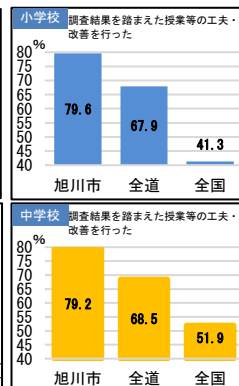
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
各学校において、調査結果を踏まえた授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、「運動が好き」「中学校で授業以外でも自主的に運動したい」と回答した児童が全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞
各学校において、調査結果を踏まえた授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、「保健体育の授業が楽しい」と回答した生徒が男女ともに全国平均を上回ったと考える。

【旭川市の体力向上策】

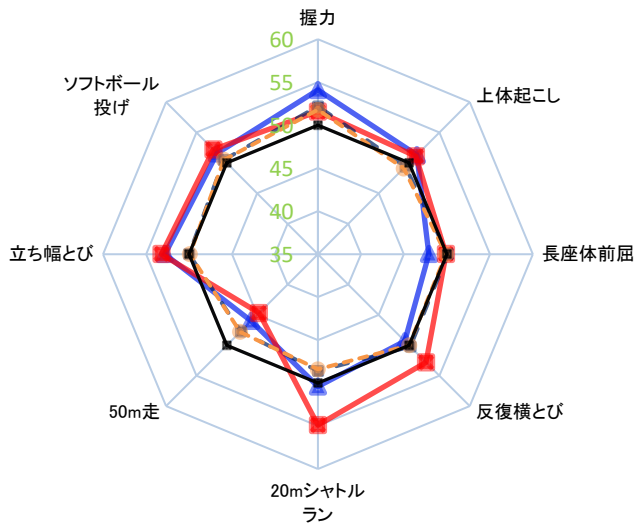
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた、各学校の「体力向上プラン」に基づく体力向上の取組の促進
- ◎ 体育の授業や体力づくりの充実を図るため、体育専科教員等を活用した「体力向上研修会」の実施
- ◎ 児童生徒の実態に応じた「一校一実践」の充実

■ 士別市内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校6校・児童数117名、中学校4校・生徒数113名)

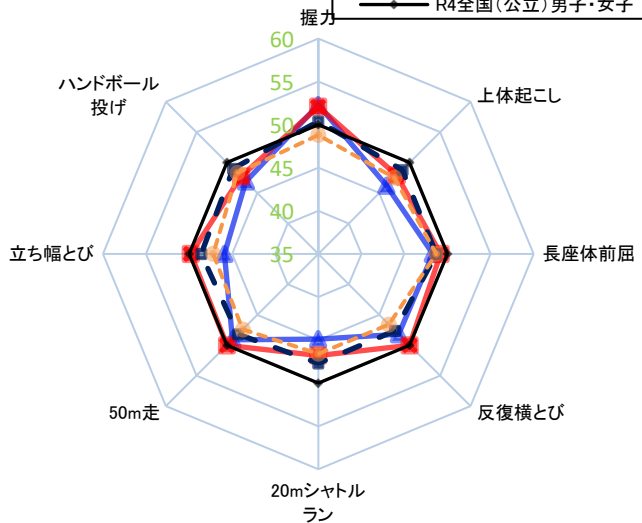
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

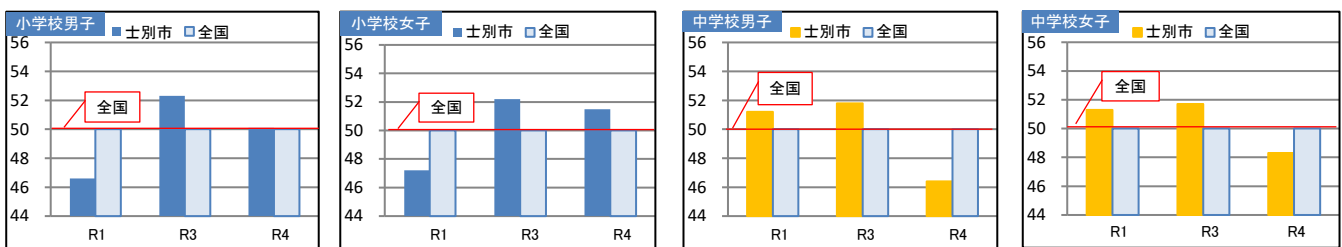
【小学校】



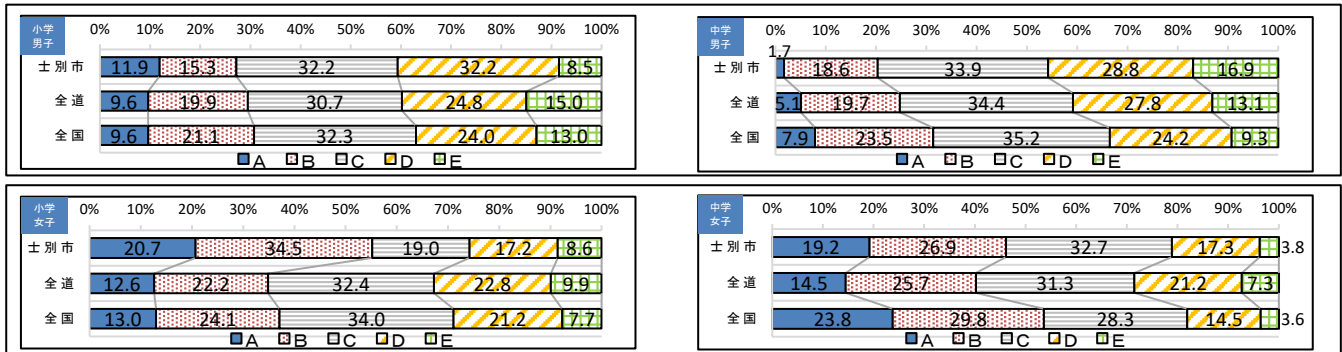
【中学校】



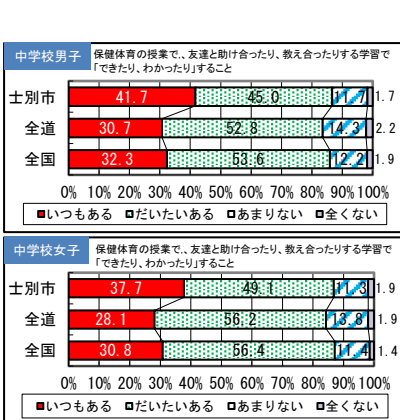
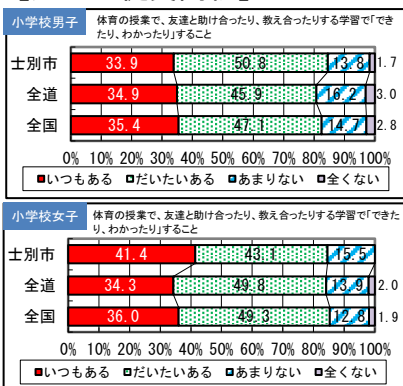
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



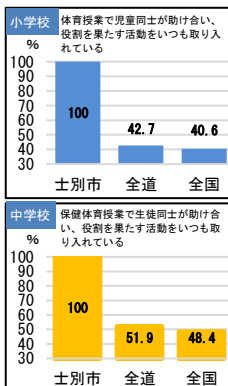
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
各学校において、体育授業で児童同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れたことにより、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」するようになり、体力合計点が全国平均以上になったと考える。

＜中学校＞
各学校において、保健体育授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れたことにより、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると回答する生徒が全国平均以上となったと考える。

【士別市の体力向上策】

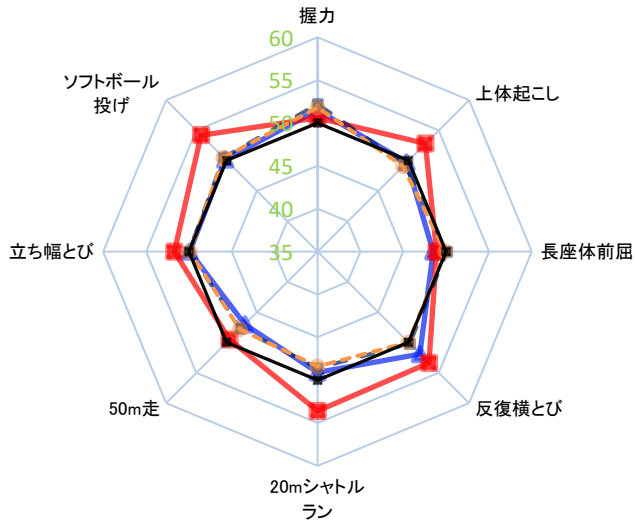
- ◎ 小・中学校ともに積極的にICT機器を活用し、体育の授業において1人1台端末や大型TV等を活用した実践を行う。
- ◎ 本市で合宿している実業団の協力により、陸上教室(実技や講義)を開催し、児童生徒の運動への意欲化を図る。
- ◎ 市が「健康・スポーツ都市宣言」の下、スポーツイベントを企画し、児童生徒が家族とともにスポーツに親しむ機会を創出する。

■ 名寄市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校7校・児童数189名、中学校4校・生徒数185名)

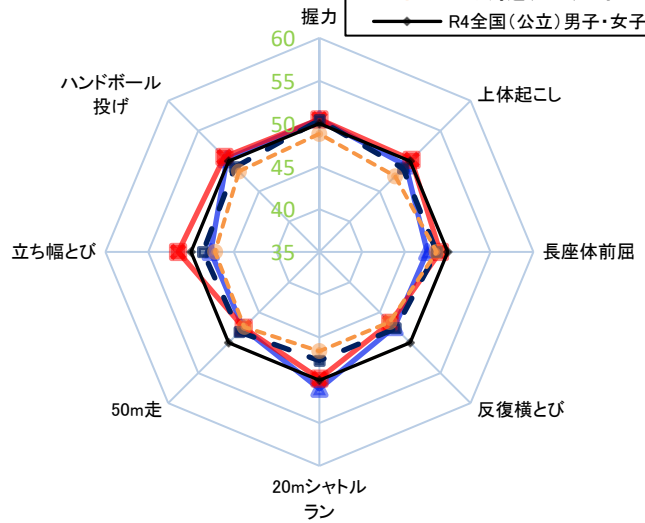
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

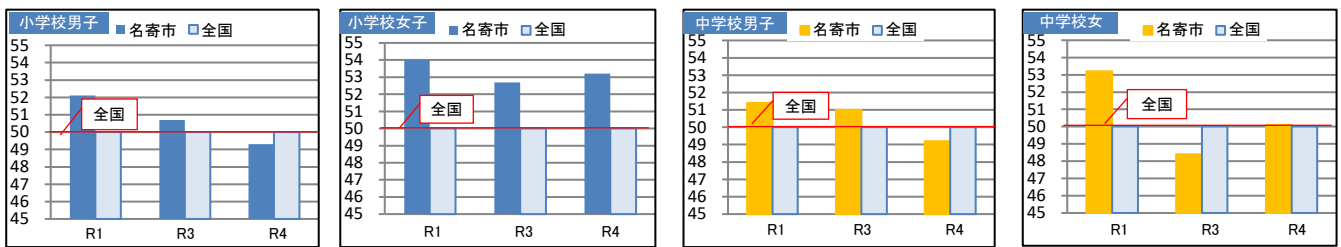
【小学校】



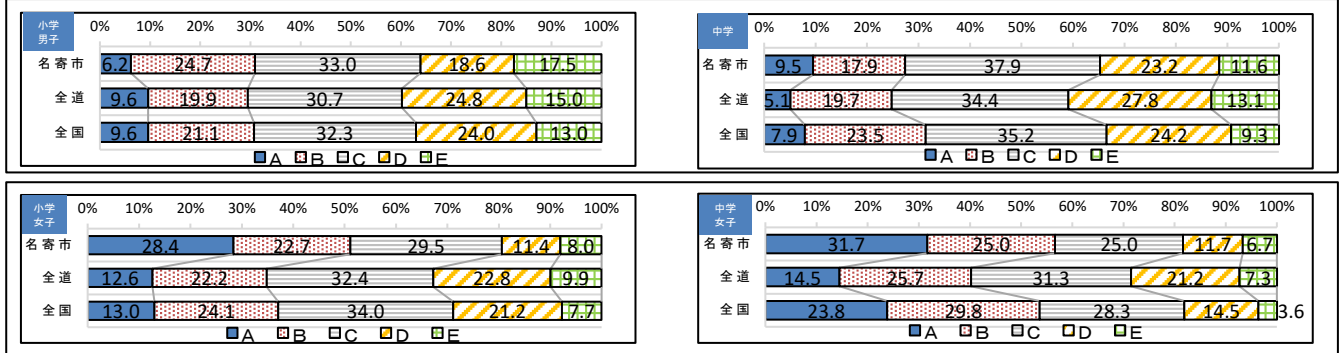
【中学校】



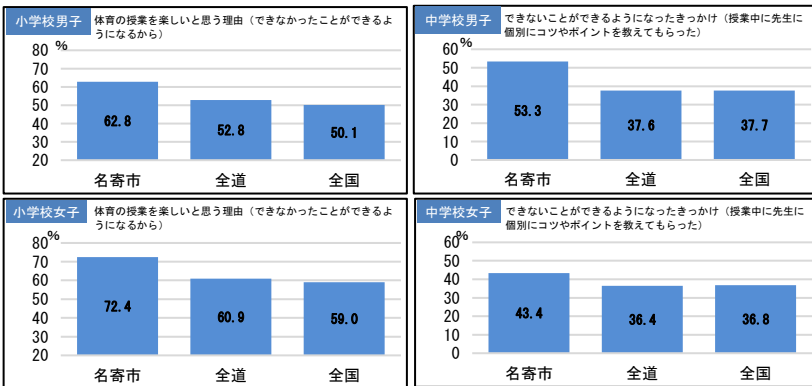
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



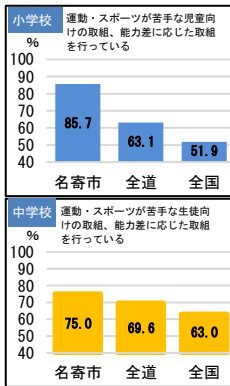
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
各学校において、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、体育の授業を楽しいと思う理由として、「できなかったことができるようになるから」を挙げる児童が男女ともに多かつたと考える。

＜中学校＞
各学校において、運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、できないことができるようになったきっかけとして、「授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらったこと」を挙げる生徒が男女ともに多かつたと考える。

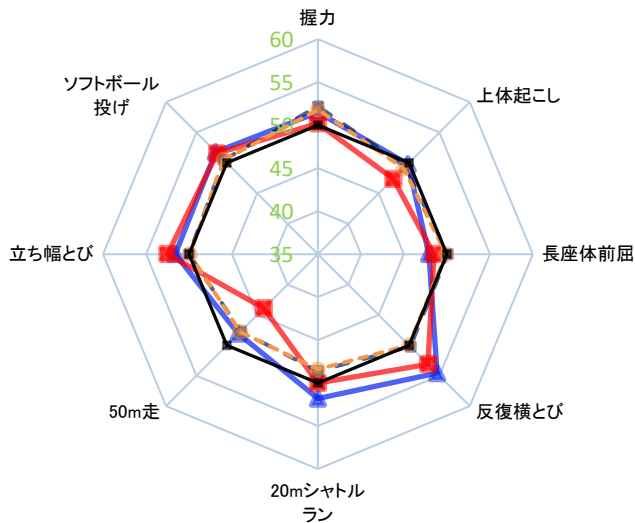
【名寄市の体力向上策】

- ◎ 名寄市教育研究所保健体育班による市内全学年児童生徒の調査結果分析及び実技研修会の実施
- ◎ ICTなどを積極的に活用した、個に応じた運動が楽しいと思える体育・保健体育の授業改善
- ◎ 各学校の特色を生かした体力づくりの取組である「1校1実践」の推進や、スキー・カーリングなど地域の教育資源を生かした活動
- ◎ 走力や柔軟性を高めるために、準備運動で体ほぐし運動を取り入れるなどの体育・保健体育の授業の工夫

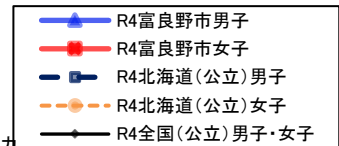
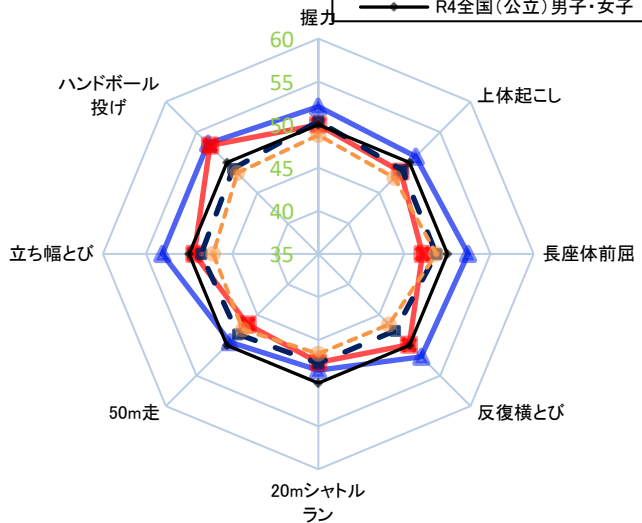
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

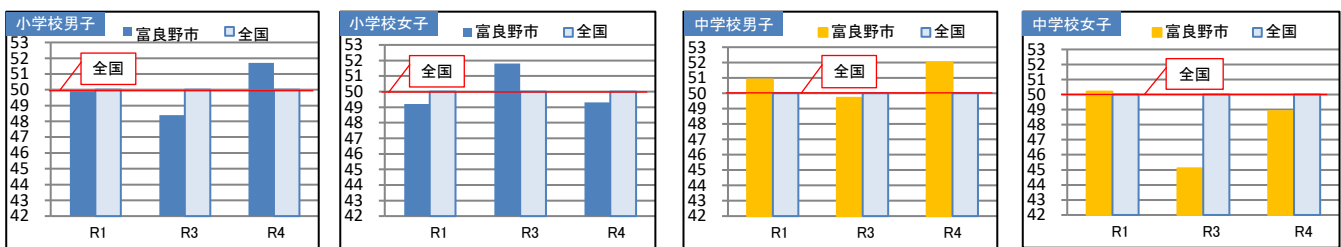
【小学校】



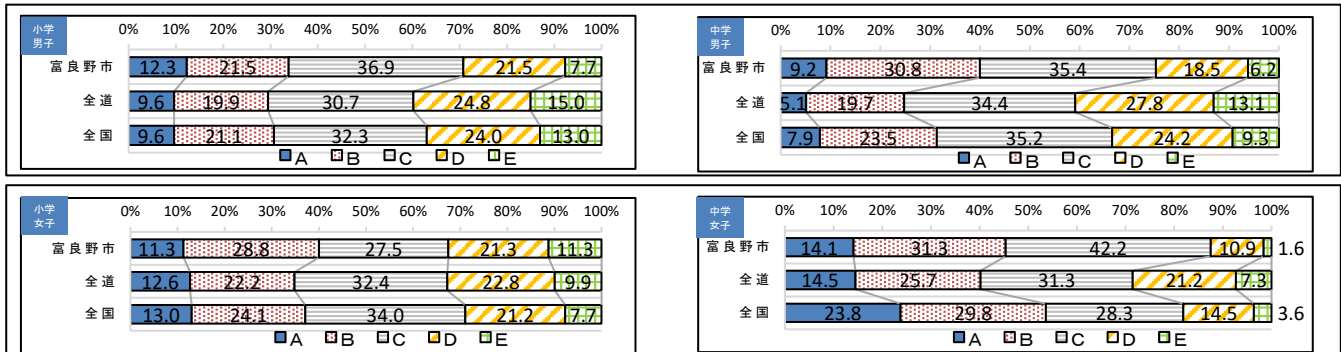
【中学校】



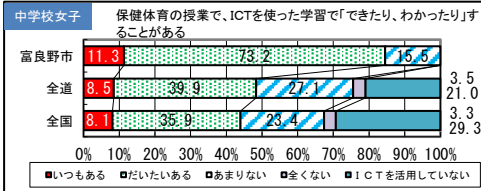
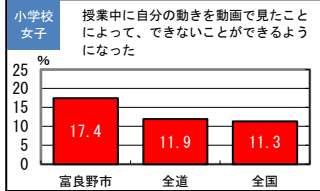
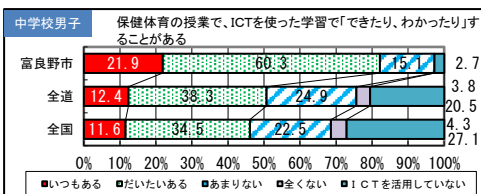
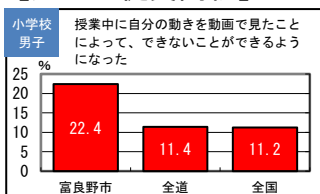
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



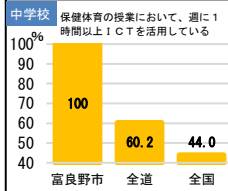
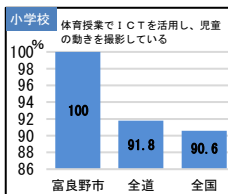
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
各学校において、体育授業でICTを活用し、児童の動きを撮影したことにより、授業中に自分の動きを見たことによって、できないことができるようになったと回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

＜中学校＞
各学校において、保健体育の授業において、週に1時間以上ICTを活用したことにより、授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがあると回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【富良野市の体力向上策】

- ◎ 新体力テストの結果を踏まえた休み時間や放課後を活用した運動時間の確保と運動意欲を高めるための全校的な取組(縄跳び、持久走、水泳、スキー、運動結果の個人票作成等)
- ◎ 少年団活動や部活動を通じた体力向上の取組(継続的な練習、練習の工夫等、小規模校合同の取組)
- ◎ NPO法人ふらのスポーツ協会を中心とした指導者の養成

■ 鷹栖町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校2校・児童数51名、中学校1校・生徒数57名)

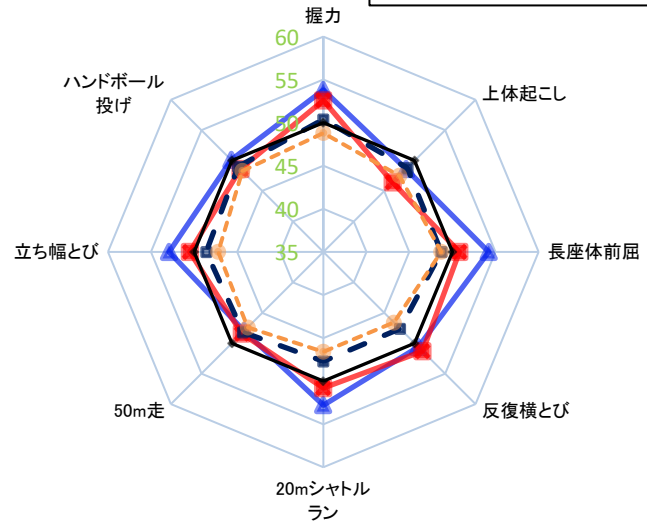
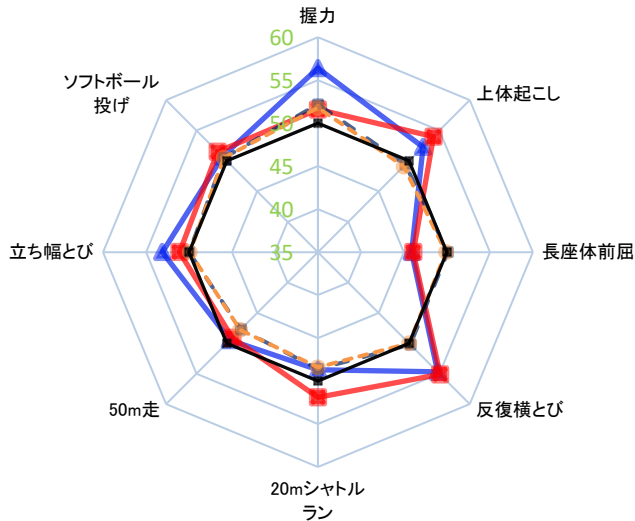
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

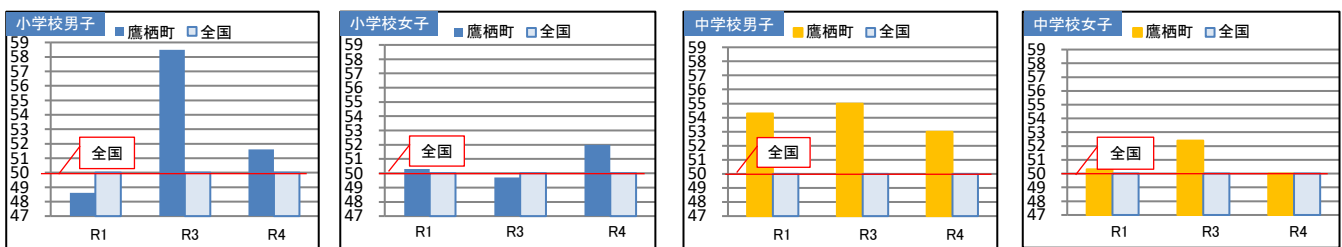


【小学校】

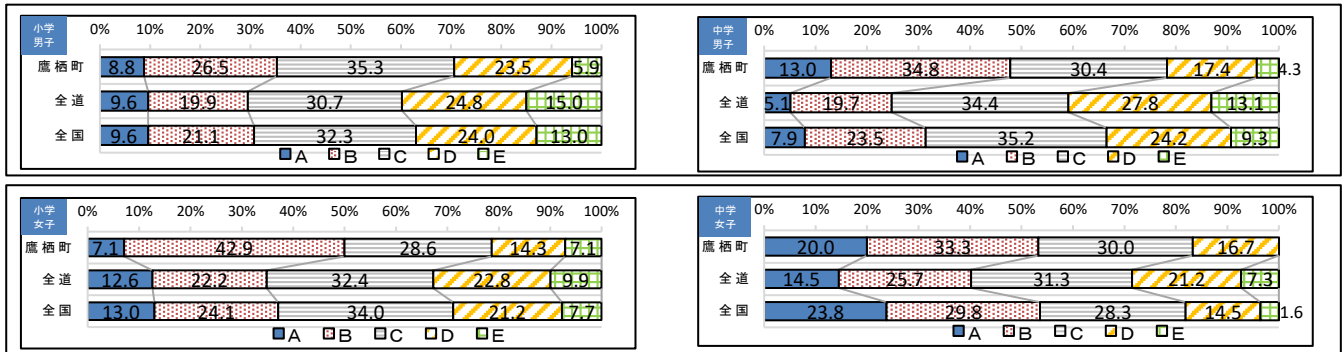
【中学校】



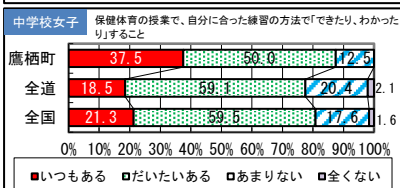
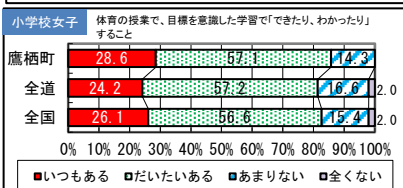
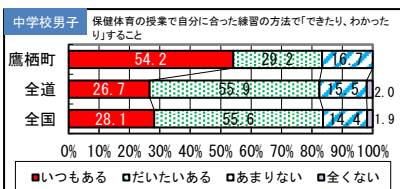
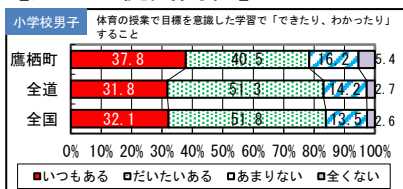
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



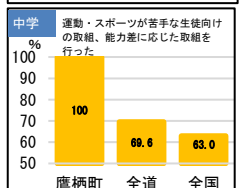
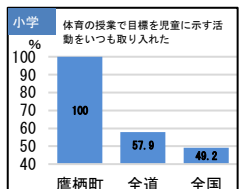
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
各学校において、体育の授業で目標を児童に示す活動をいつも取り入れたことにより、授業において目標を意識することで「できたり、わかったり」することが「いつもある」と回答した児童が、全国平均以上になったと考える。

＜中学校＞
学校において、運動が苦手な生徒向けの取組や能力差に応じた取組を行ったことにより、授業において自分に合った練習の方法で「できたり、わかったり」することが「いつもある」と回答した生徒が、全国平均以上になったと考える。

【鷹栖町の体力向上策】

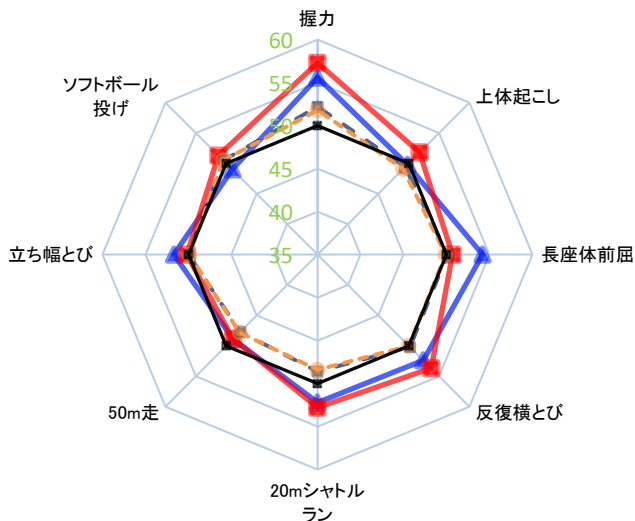
- ◎ 部活動や各体育団体、各種体育大会への支援の充実
- ◎ コーディネーション運動や水泳教室、歩くスキー等の事業を推進、運動習慣の定着化

■ 東神楽町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数113名、中学校1校・生徒数96名)

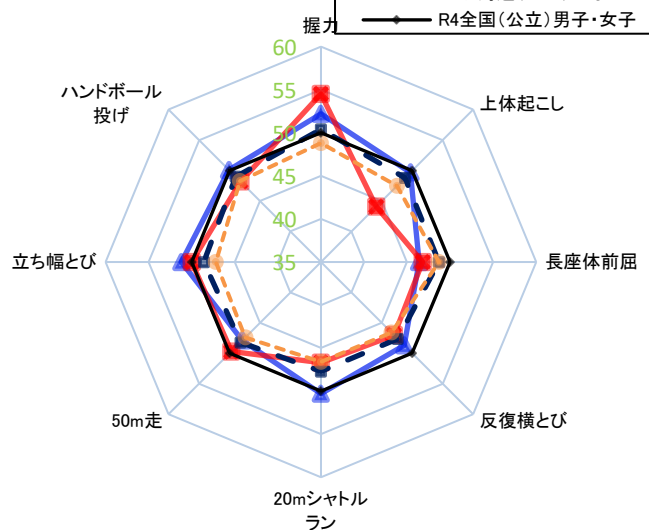
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

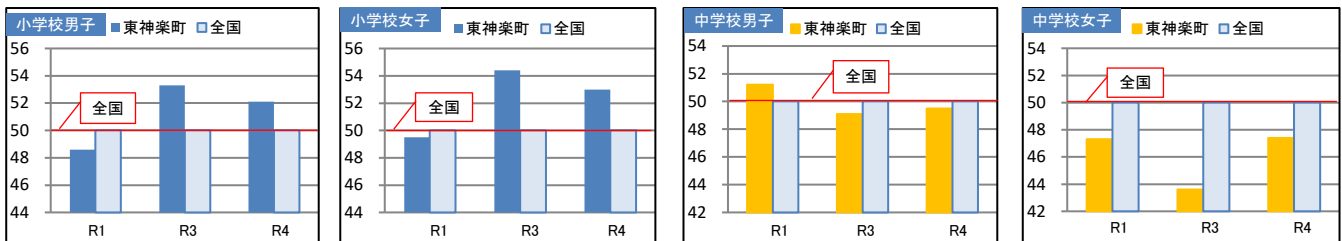
【小学校】



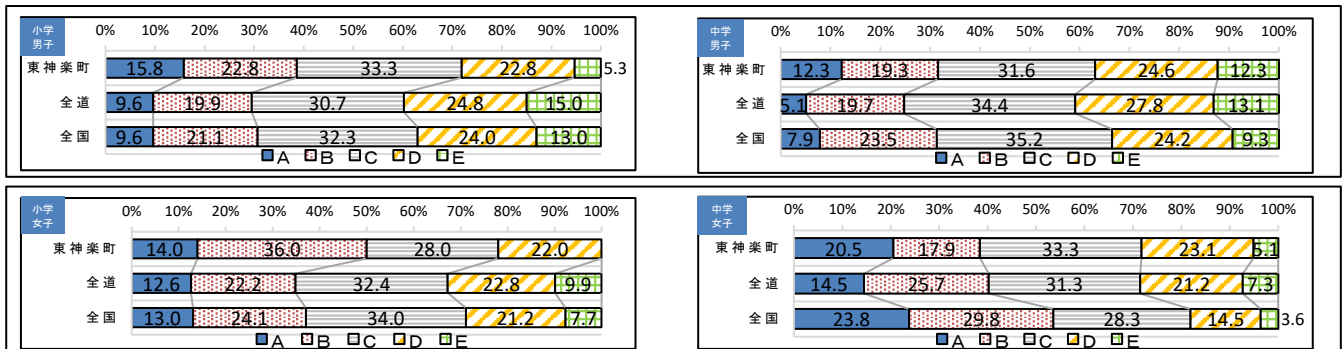
【中学校】



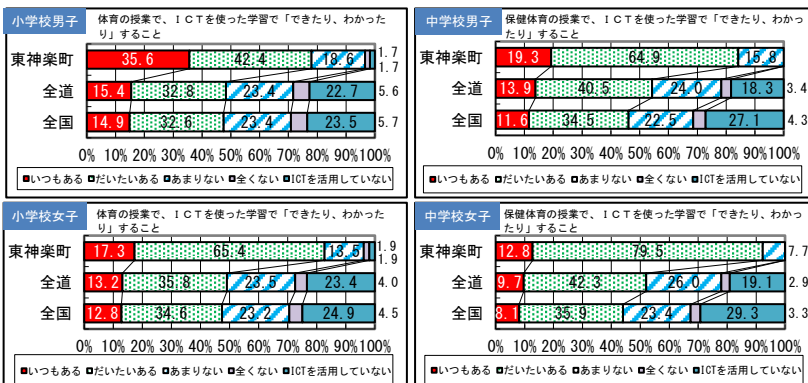
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



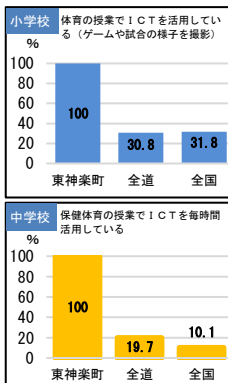
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
各学校において、体育の授業でICTを活用したことにより、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」と回答する児童及び体力合計点が全国平均以上になったと考える。

＜中学校＞
学校において、保健体育の授業でICTを毎時間活用したことにより、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」と回答する生徒が全国平均以上になったと考える。

【東神楽町の体力向上策】

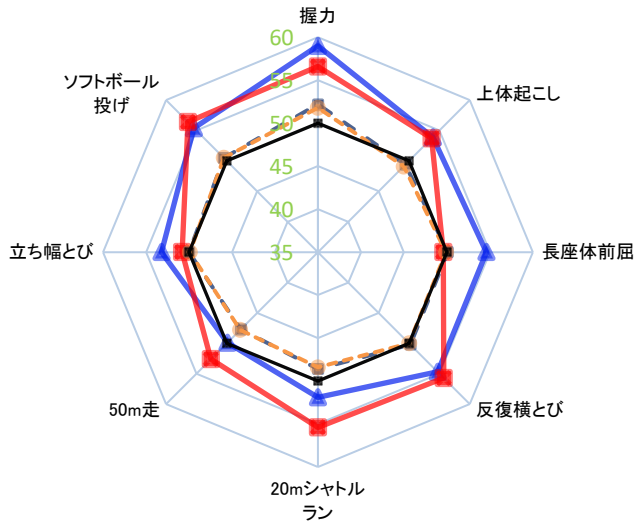
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた指導等の工夫・改善など体育の授業改善
- ◎ 休み時間や放課後など、体育の授業以外の運動時間の確保及び指導体制の充実
- ◎ 小学校の結果を踏まえた中学校での指導の工夫・改善等、小中連携による系統的な教育活動を展開するための組織体制の構築
(東神楽町小中一貫教育イノベーションプログラム及び組織的な体力向上への取組についての普及啓発)

■ 当麻町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校2校・児童数54名、中学校1校・生徒数41名)

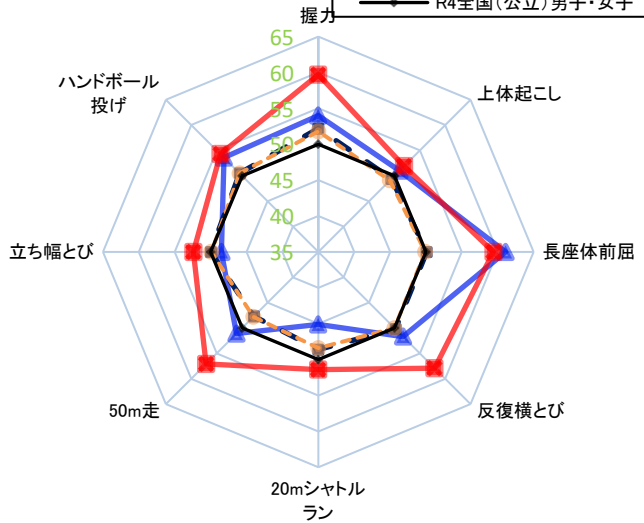
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

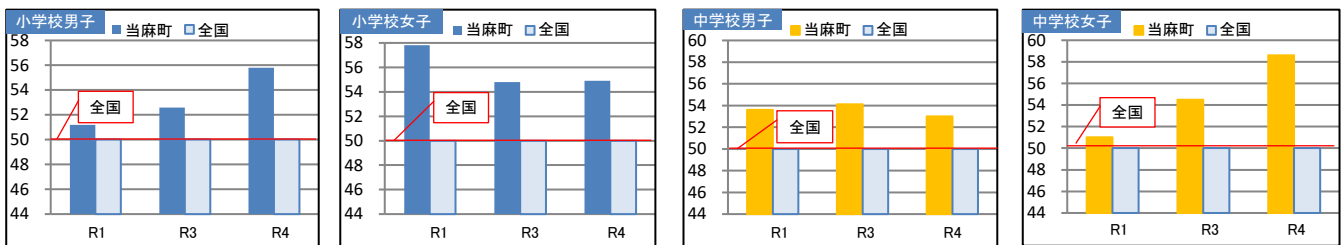
【小学校】



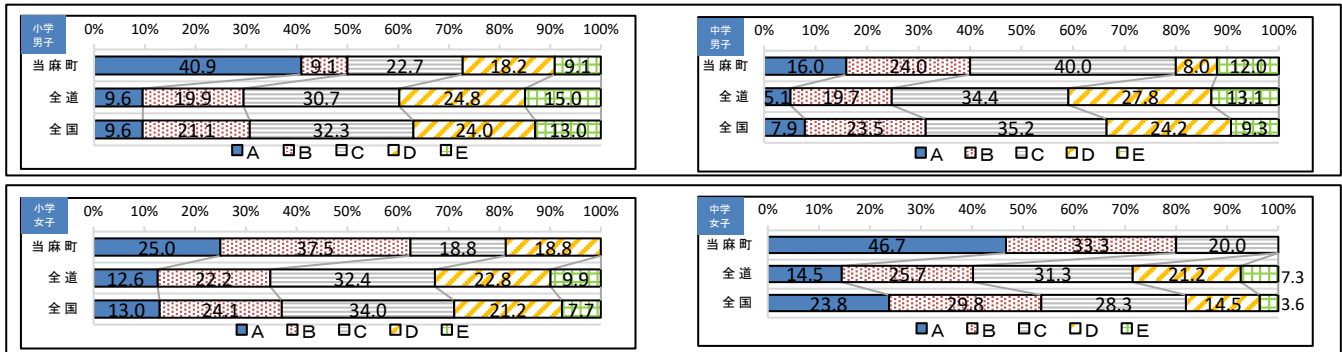
【中学校】



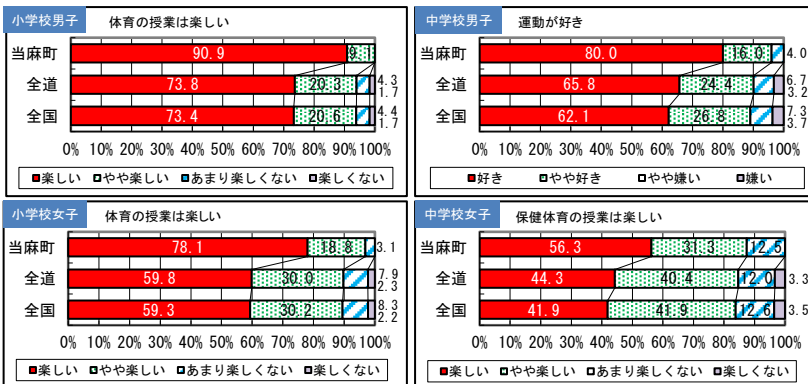
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



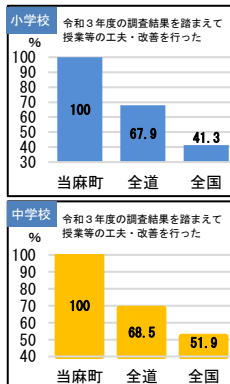
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
各学校において、令和3年度の調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行ったことにより、体育の授業は楽しいと回答する児童及び体力合計点が全国平均以上となったと考える。

＜中学校＞
令和3年度の調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行ったことにより、運動が好き、保健体育の授業は楽しいと回答する生徒及び体力合計点が全国平均以上となったと考える。

【当麻町の体力向上策】

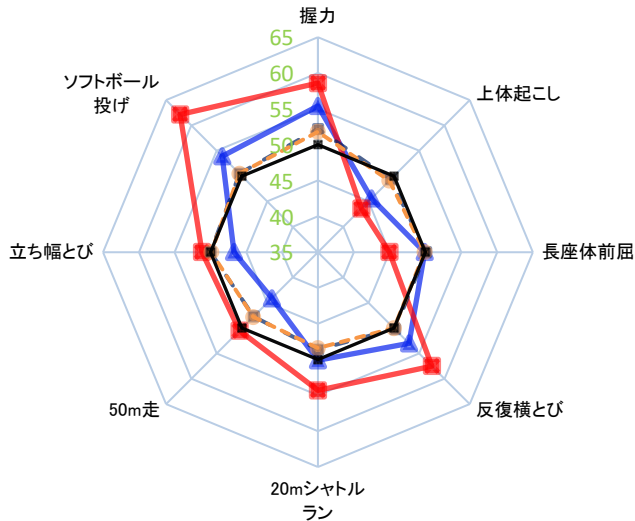
- ◎ 健康や体力の向上を目指し、体育の授業を中心とした発達の段階に応じた運動の充実
- ◎ 基本的な生活習慣の確立や正しい食生活の理解に向けた実践の推進
- ◎ スポーツ少年団活動の奨励

■ 比布町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数27名、中学校1校・生徒数23名)

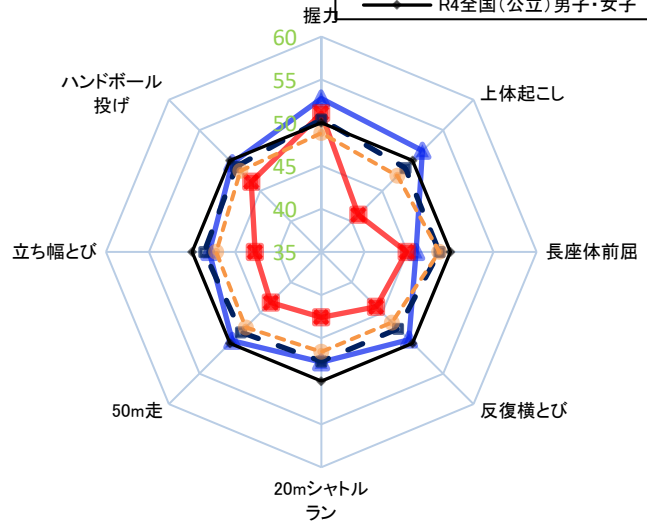
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

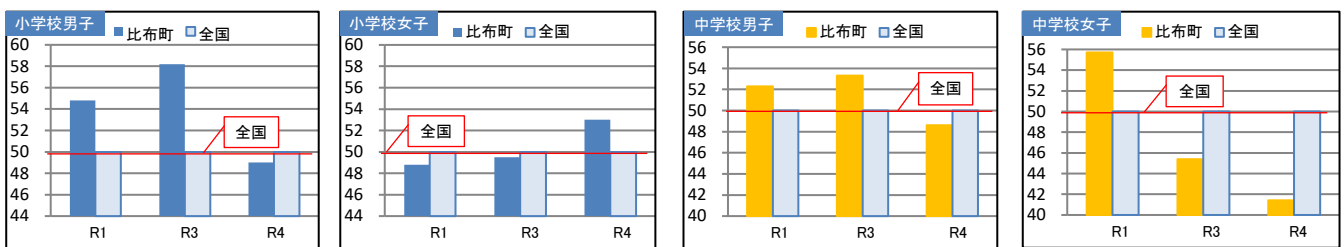
【小学校】



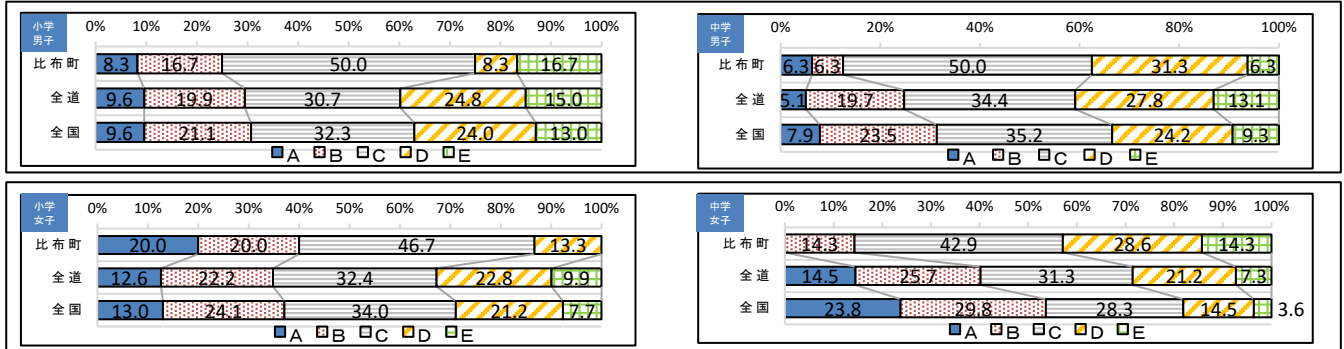
【中学校】



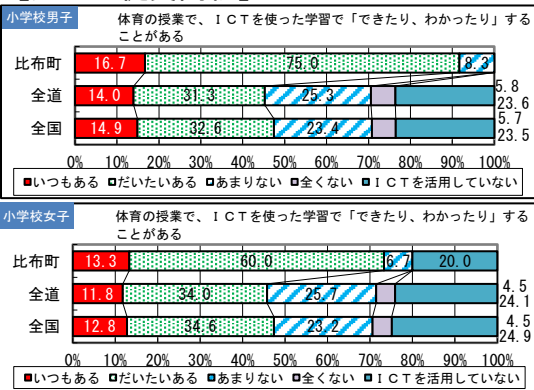
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



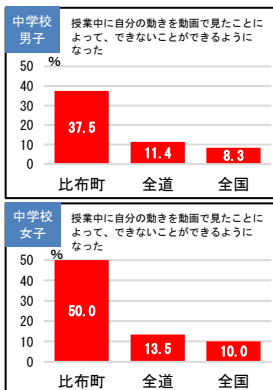
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
学校において、体育の授業で週に1時間以上ICTを活用したことにより、体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがあると回答した児童の割合が全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞
学校において、保健体育の授業で週に1時間以上ICTを活用したことにより、授業中に自分の動きを動画で見たことによって、できないことができるようになったと回答した生徒の割合が全国平均を上回ったと考える。

【比布町の体力向上策】

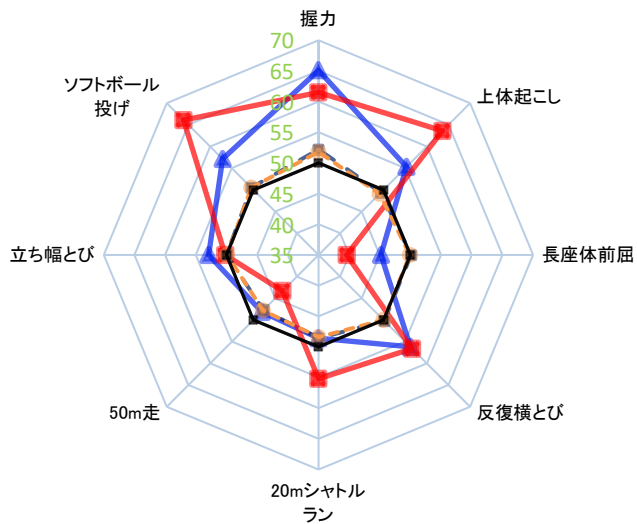
- ◎ ICTを効果的に活用し、自分を振り返り、課題を把握させ運動に取り組ませることで、達成感を味わい運動への意欲を高める
- ◎ 体育の授業において年間を通して柔軟性や持久力を高める運動の継続と、体力向上月間を設定し重点的な体力向上の取組の実施
- ◎ 町の施策であるピピカツ事業の一環として、プロバレーボールチームのトレーナーによる前後期児童生徒対象の運動教室を実施

■ 愛別町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数13名、中学校1校・生徒数16名)

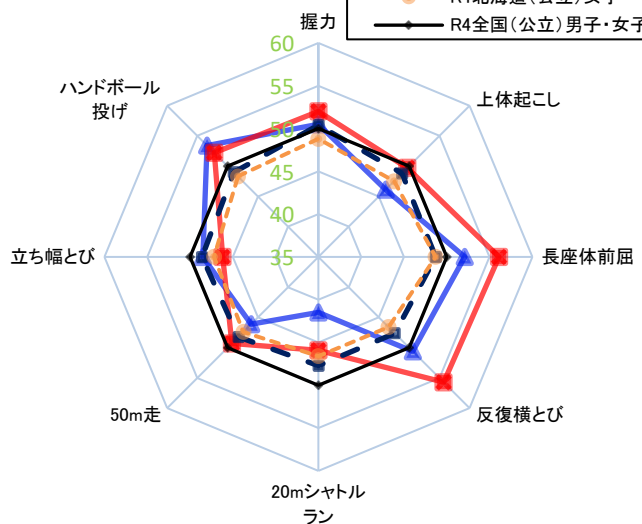
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

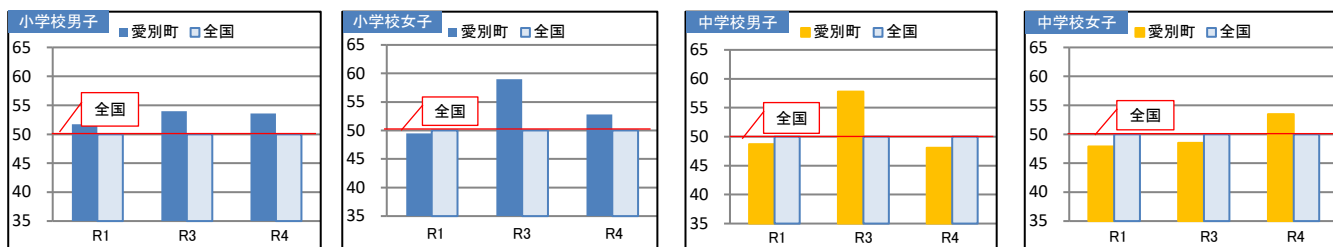
【小学校】



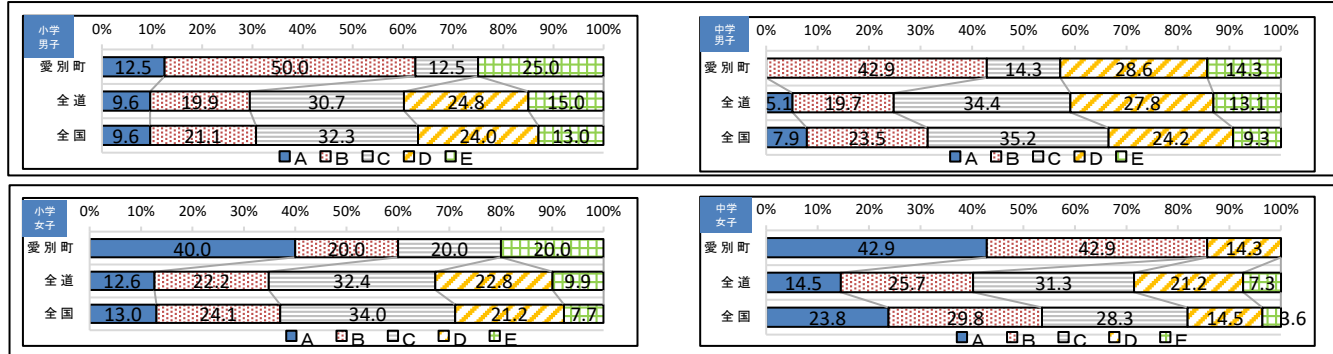
【中学校】



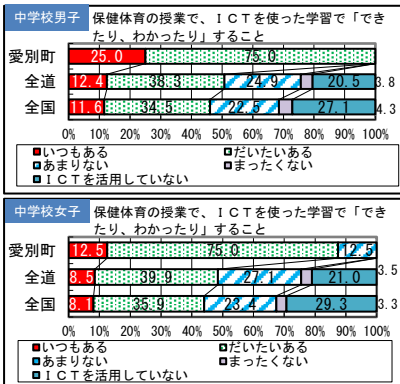
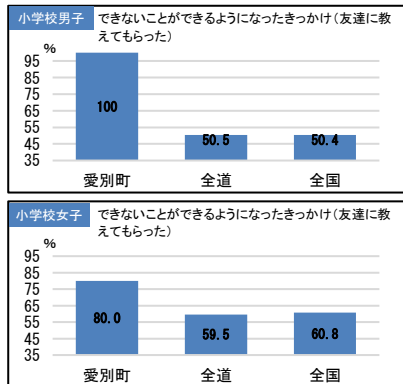
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



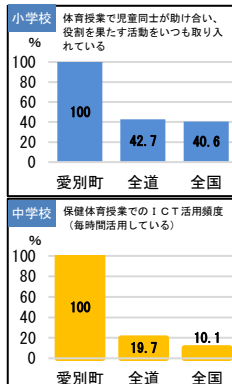
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
児童同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れた授業を行ったことにより、できないことができるようになったきっかけとして、「友達に教えてもらったこと」を挙げる児童の割合が男女ともに全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞
ICTを活用した授業を毎時間行ったことにより、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」することが「いつもある」と回答する生徒の割合が男女ともに全国平均以上になったと考える。

【愛別町の体力向上策】

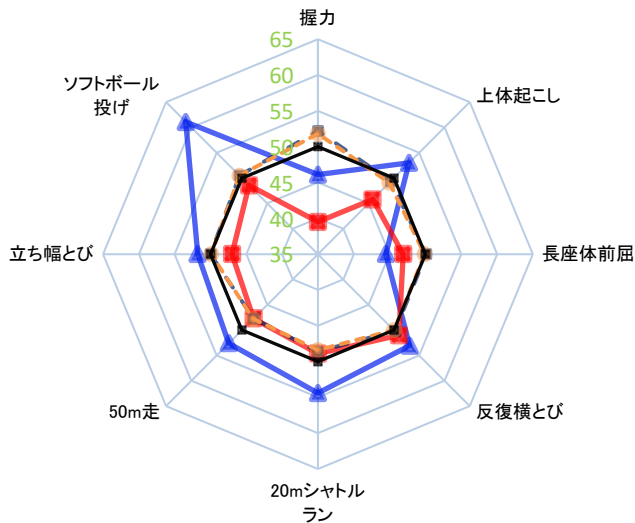
- ◎ 異年齢の生徒が一緒に行う少年団活動など、運動に親しむ機会の確保
- ◎ 小・中連携した運動習慣改善の推進
- ◎ 運動量の確保や目標設定・振り返りの実施など体育科授業改善の推進

■ 上川町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数18名、中学校1校・生徒数21名)

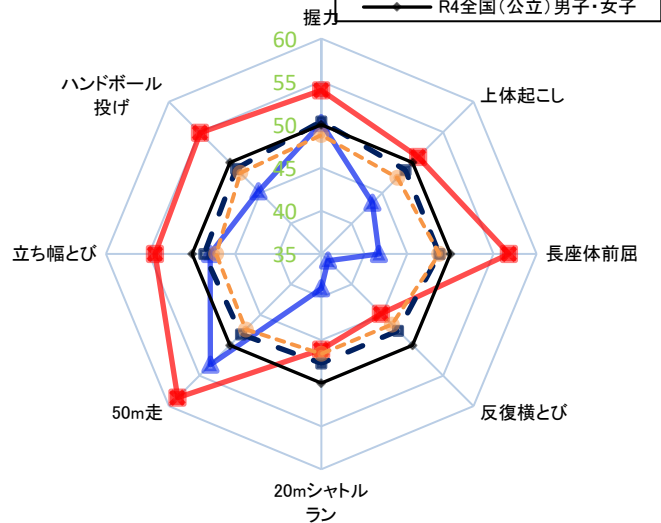
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

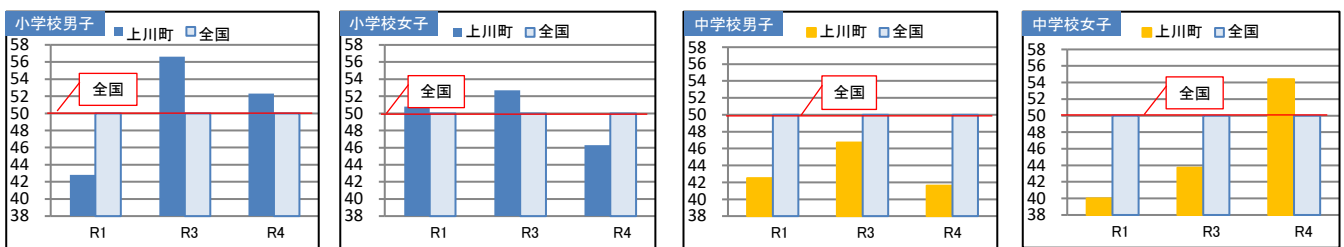
【小学校】



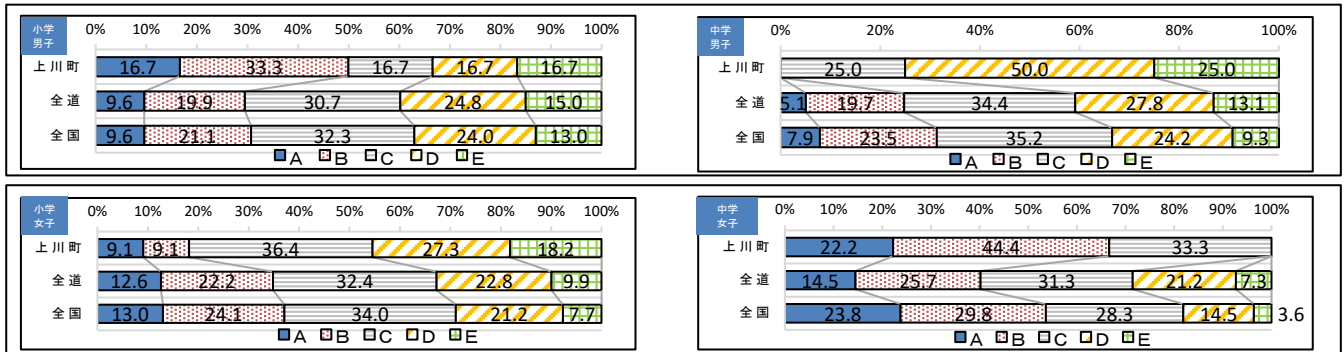
【中学校】



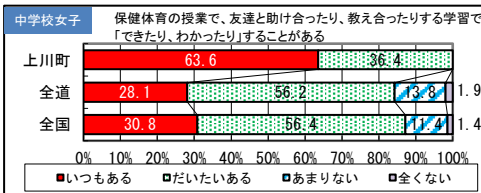
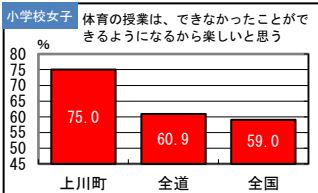
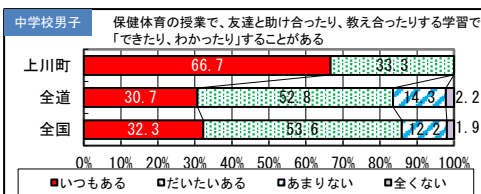
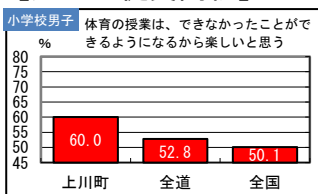
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



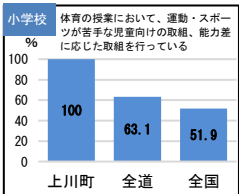
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
学校において、体育の授業で運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、体育の授業は、できないことができるよくなるから楽しいと思うと回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

＜中学校＞
学校において、保健体育授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れたことにより、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがあると回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【上川町の体力向上策】

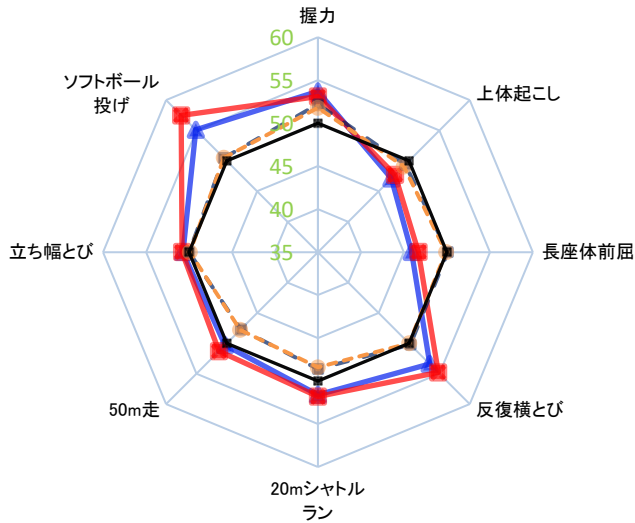
- ◎ 休み時間や放課後など、体育の授業以外の運動時間を確保する取組の推進
- ◎ 調査結果に基づき、社会教育・社会体育活動と連携した指導・対策・強化の推進
- ◎ 体力の向上を図る運動部活動や少年団活動の支援、冬季スポーツの積極的な参加促進に向けた取組の推進

■ 東川町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校4校・児童数76名、中学校1校・生徒数66名)

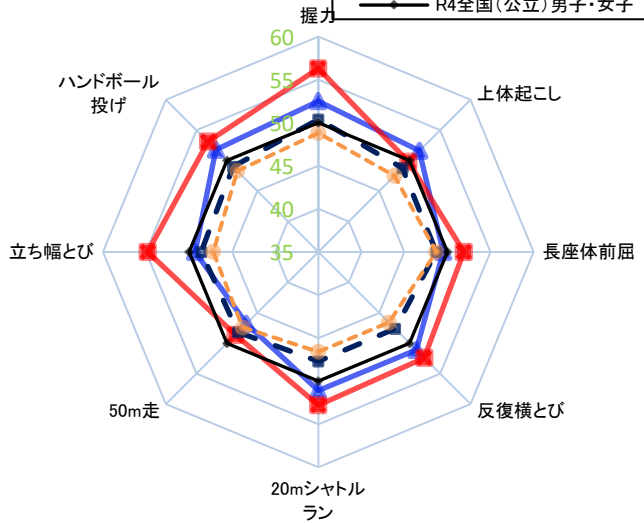
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

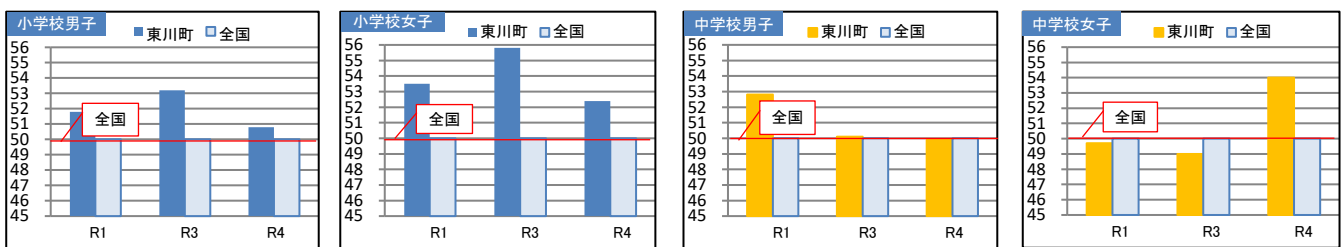
【小学校】



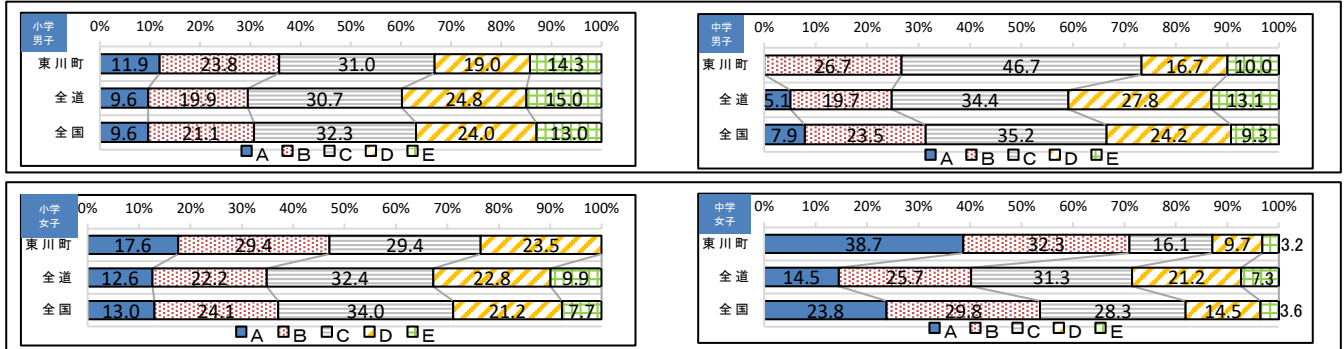
【中学校】



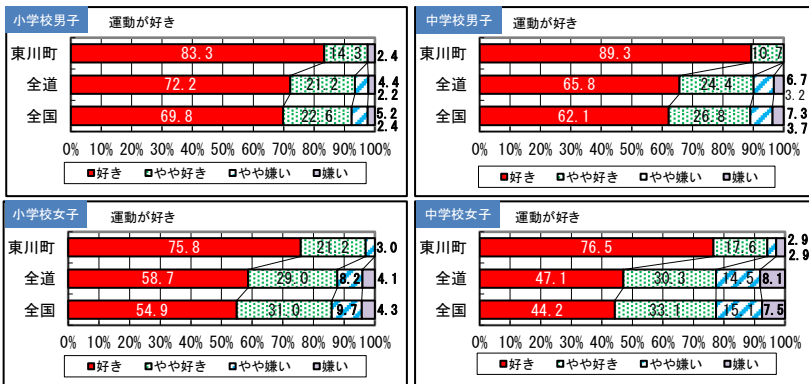
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



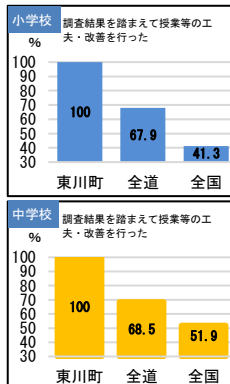
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
各学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、運動が好きと回答した児童が全国平均以上となったと考える。

＜中学校＞
学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、運動が好きと回答した生徒が全国平均以上となったと考える。

【東川町の体力向上策】

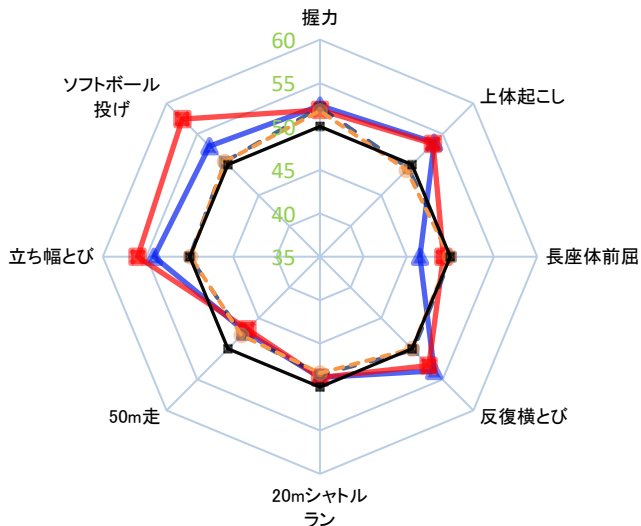
- ◎ 休み時間や放課後など、体育の授業以外の運動時間を確保する取組の推進
- ◎ スポーツ国際交流員(SEA)の活用によるスポーツ活動の推進
- ◎ 運動習慣の定着に向けた、家庭や地域・スポーツ団体等との連携による少年団活動等への支援

■ 美瑛町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校5校・児童数70名、中学校2校・生徒数62名)

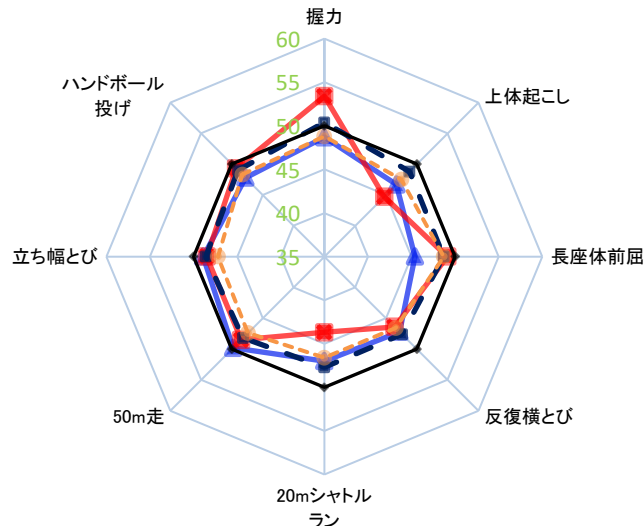
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

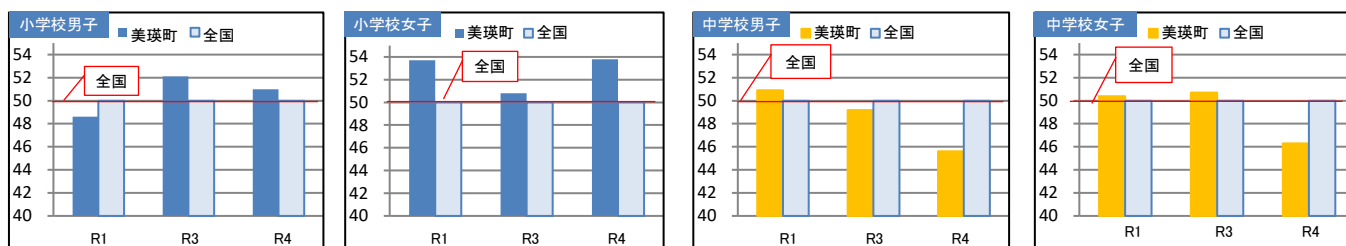
【小学校】



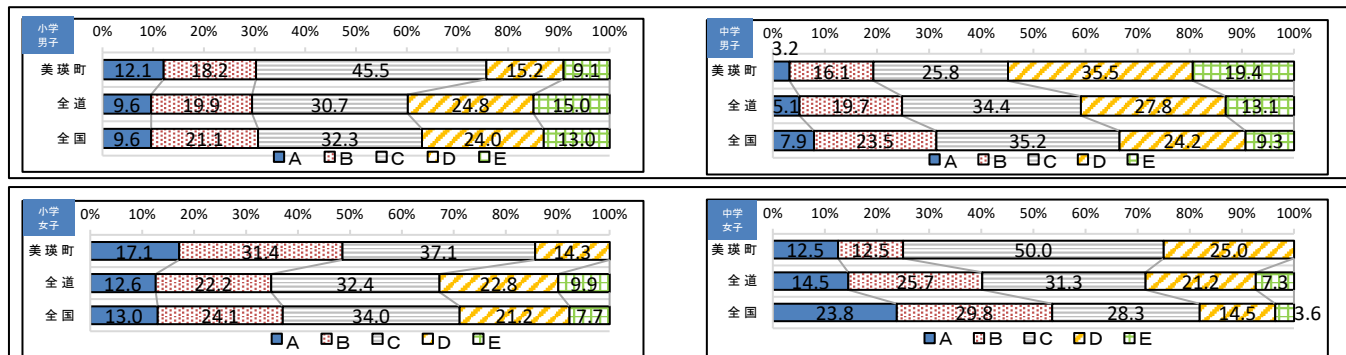
【中学校】



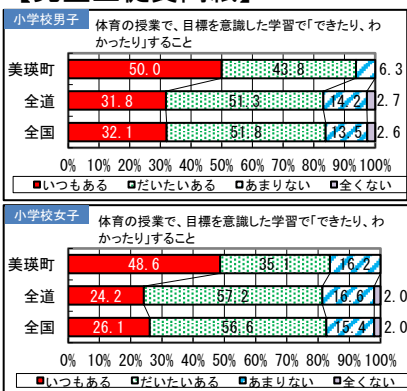
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



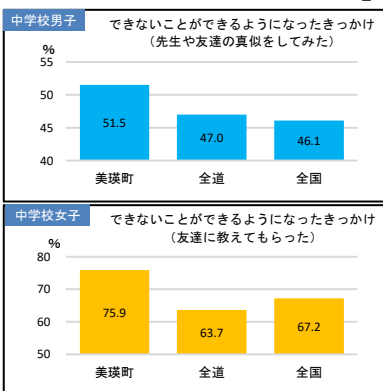
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
各学校において、体育授業の目標を児童に示す活動をいつも取り入れたことにより、男女ともに体育の授業で、目標を意識した学習で「できたり、わかったり」することがあると回答した児童が全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞
各学校において、保健体育授業での生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、できないことができるようになったきっかけとして「先生や友達我真似をしてみた」、「友達に教えてもらった」と回答した生徒が全国平均を上回ったと考える。

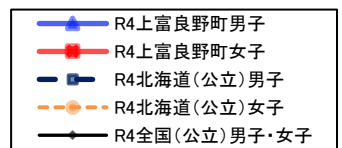
【美瑛町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を分析し、体力向上プランを改善・実施するなど、PDCAサイクルの推進
- ◎ 授業でICTを活用し、児童生徒に自分の動きを動画で見せるなど、動きの質の向上を実感させる指導の工夫
- ◎ 児童生徒・保護者に対し、運動やスポーツの行事への参加を促すなど、家庭と連携した取組の充実

■ 上富良野町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数93名、中学校1校・生徒数78名)

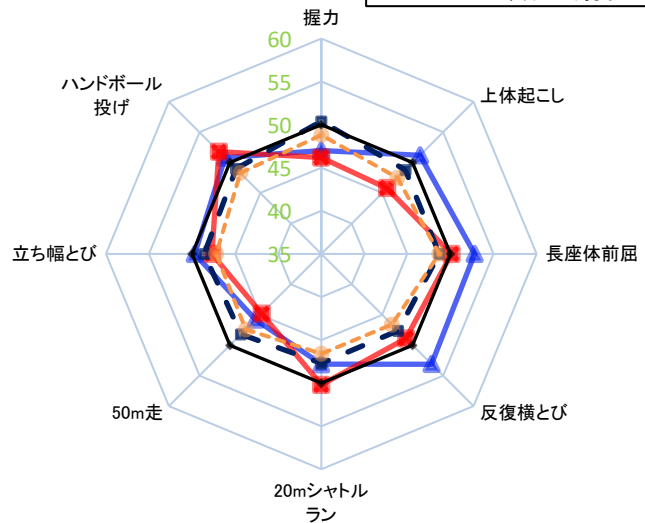
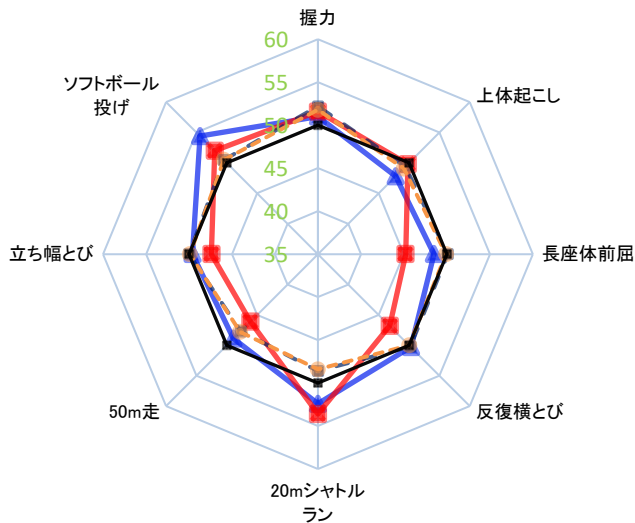
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

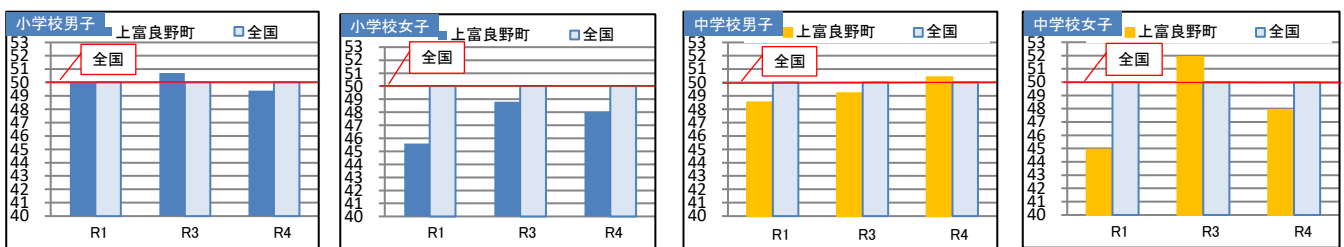


【小学校】

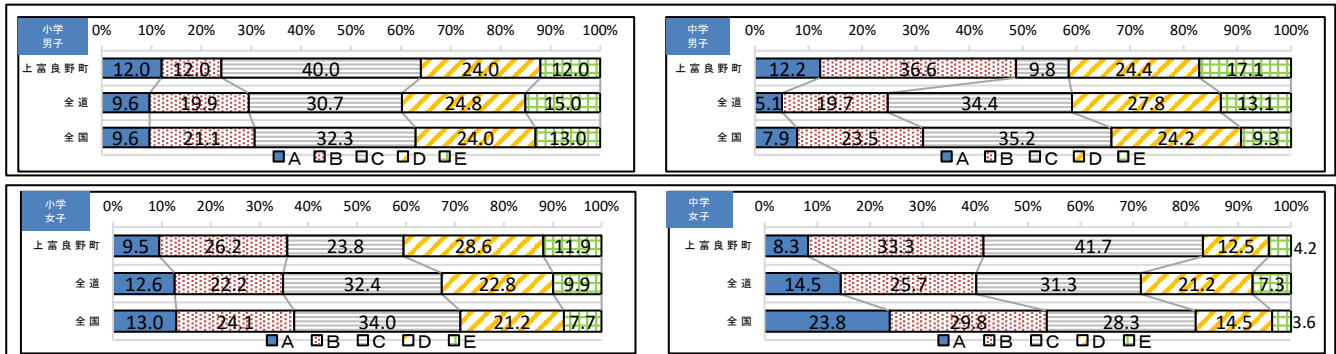
【中学校】



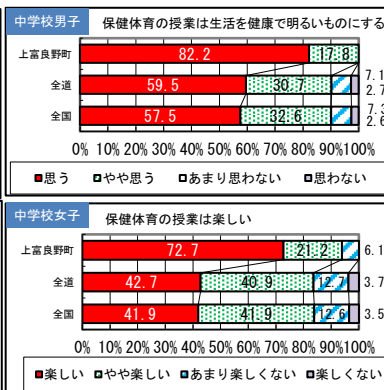
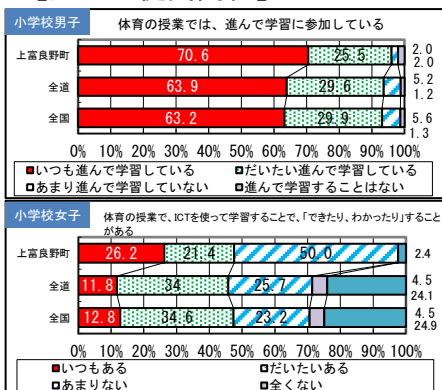
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



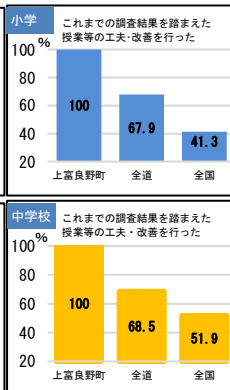
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
各学校において、これまでの調査結果を踏まえて授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、「体育の授業では、進んで学習に参加している」、「体育の授業で、ICTを使って学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した児童が、全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞
学校において、これまでの調査結果を踏まえて授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、「保健体育授業は生活を健康で明るいものにする」、「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒が、全国平均を上回ったと考える。

【上富良野町の体力向上策】

- ◎ 「柔軟性」や「走力」等、課題となった運動能力の向上を図るための体育科年間指導計画の見直し
- ◎ 体育や保健体育の授業における更なるICT機器の活用による、「体力や技能面での自己の変容を実感できる授業」「主体的・対話的で深い学び」への授業改善
- ◎ 各校の実態を踏まえた体力向上に向けての「1校1実践(マラソン、縄跳び等)」の推進と支援

■ 中富良野町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校4校・児童数37名、中学校1校・生徒数39名)

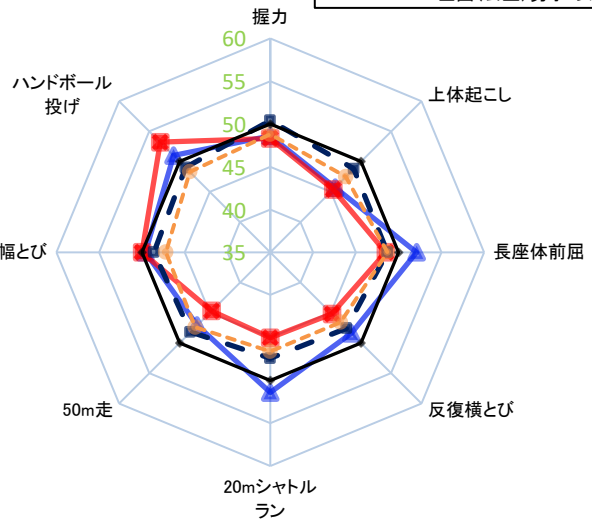
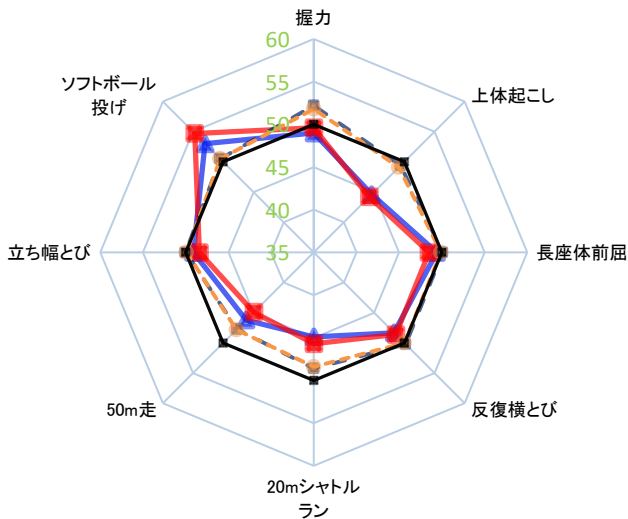
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

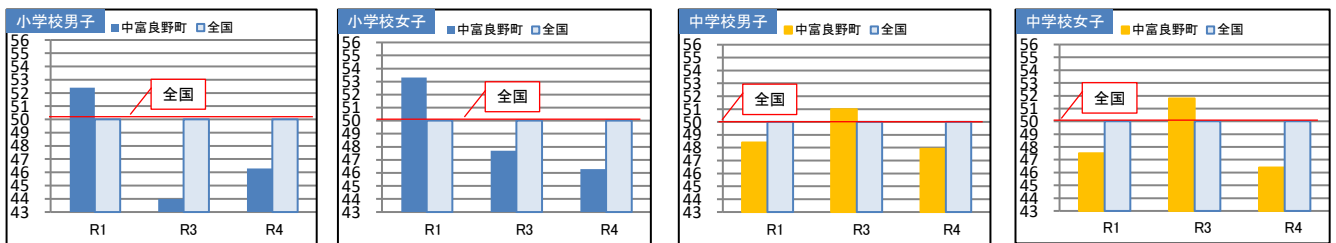


【小学校】

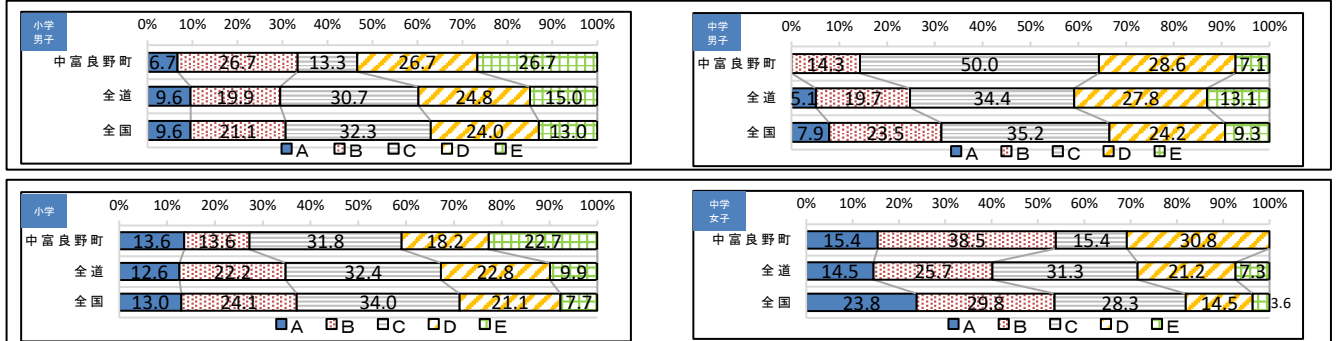
【中学校】



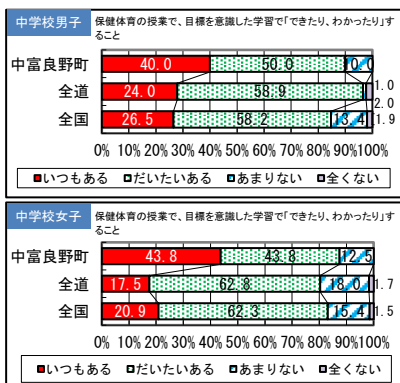
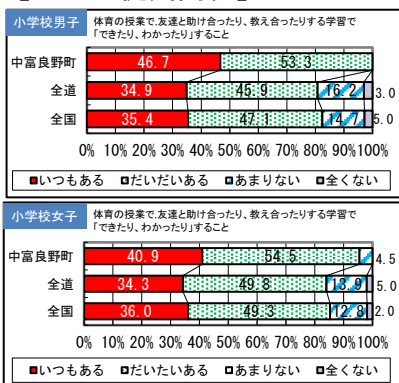
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



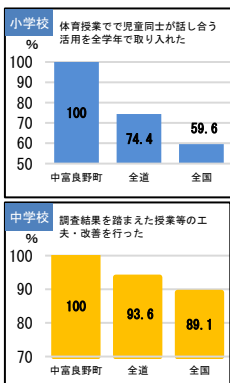
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
各学校において、体育の授業で児童同士が話し合う活動を全学年で取り入れたことにより、体育の授業で友達と助け合ったり教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると回答した児童が、全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞
学校において、前年度までの調査結果を踏まえ、授業等の工夫・改善を行ったことにより、保健体育の授業で目標を意識することで「できたり、わかったり」することがいつもあると回答した生徒が、全国平均を上回ったと考える。

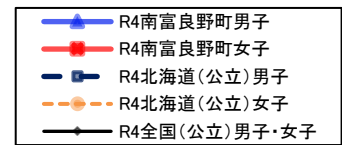
【中富良野町の体力向上策】

- ◎ 休み時間や放課後など、保健体育の授業以外の運動時間を確保する取組の推進
- ◎ 各学校や地域の特色を生かした体力・運動能力向上運動の推進
- ◎ 地域や家庭での運動習慣や意識の啓発及び、部活動、スポーツ少年団活動などの支援の推進

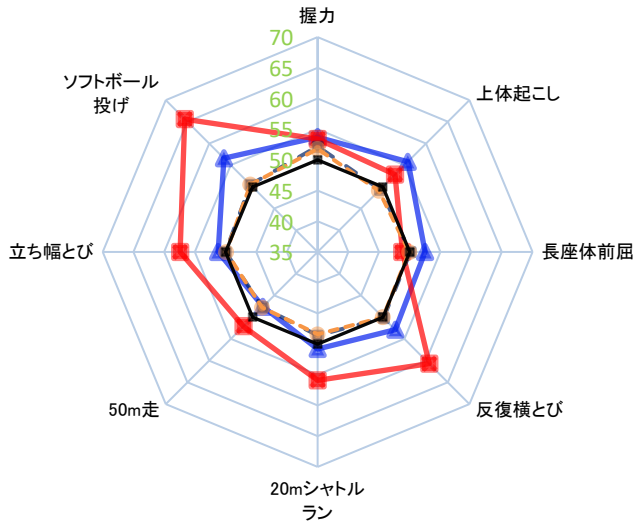
■ 南富良野町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数15名、中学校1校・生徒数12名)

【各種目の状況】

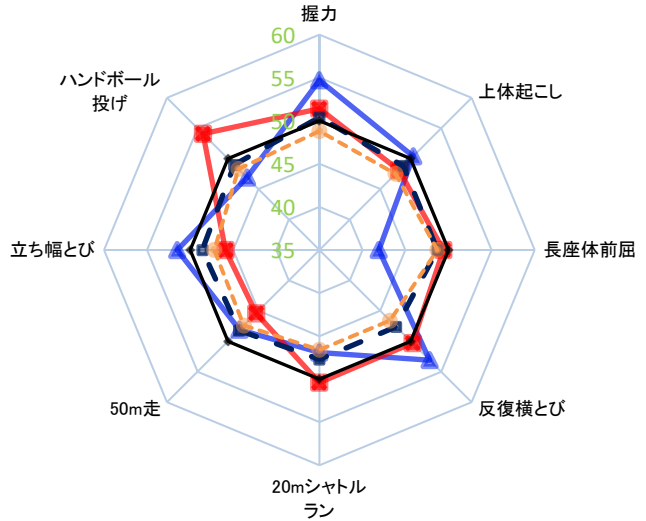
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



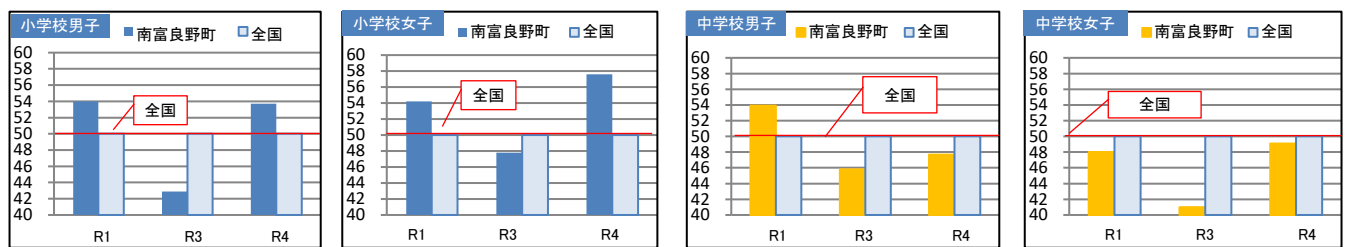
【小学校】



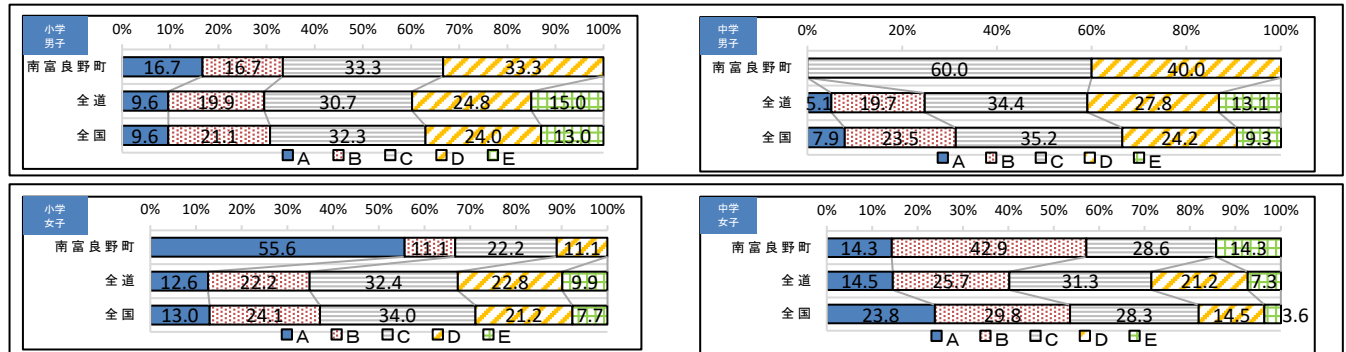
【中学校】



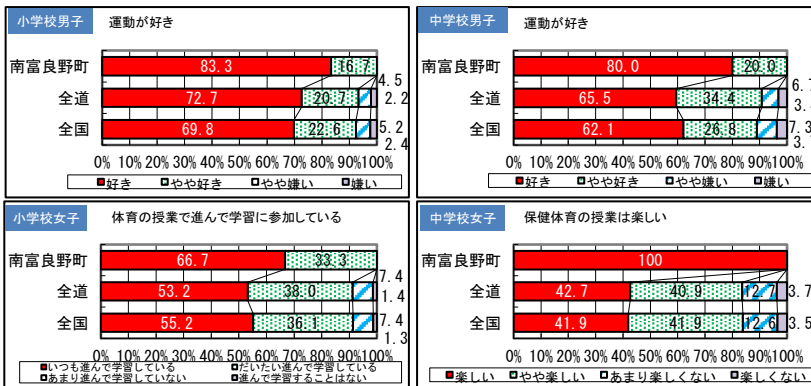
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



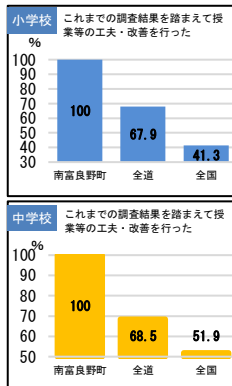
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
各学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、「運動が好き」、「体育の授業に進んで参加している」と回答した児童が全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞
調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、「運動が好き」、「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒が全国平均を上回ったと考える。

【南富良野町の体力向上策】

- ◎ ICTの効果的な活用、校内に体力向上を目的とした「遊び場」の設置
- ◎ 生徒会主体による昼休みを利用した体幹を鍛える取組みの実施
- ◎ カヌー、カーリング、スキーなどを保健体育の授業に取り入れた取組の推進

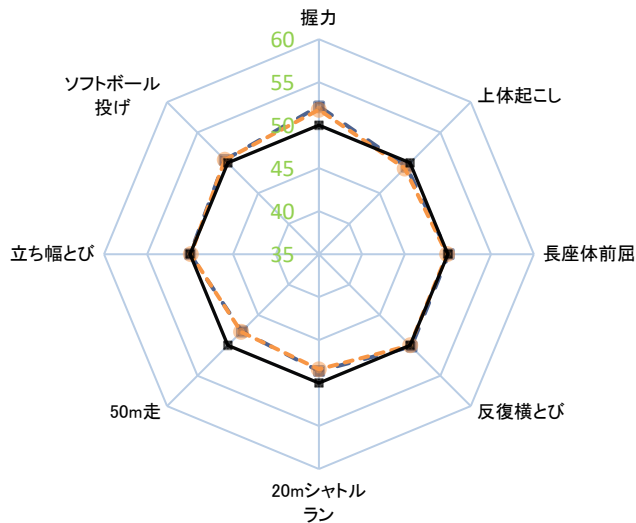
■ 占冠村内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数5名、中学校2校・生徒数11名)

児童・生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、占冠村の各種目のデータは掲載していない

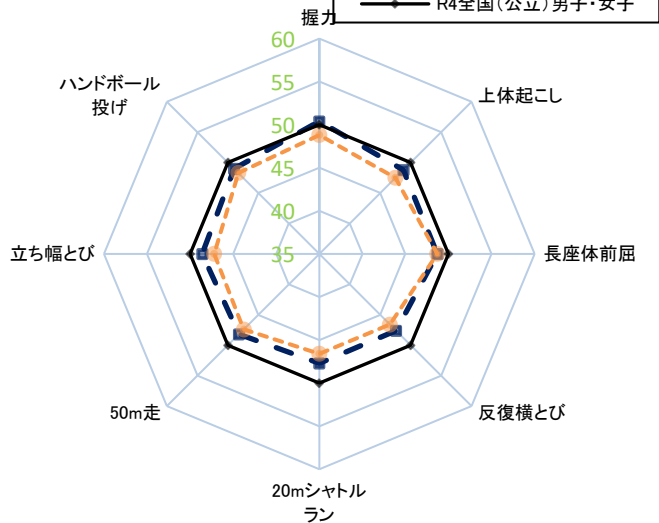
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

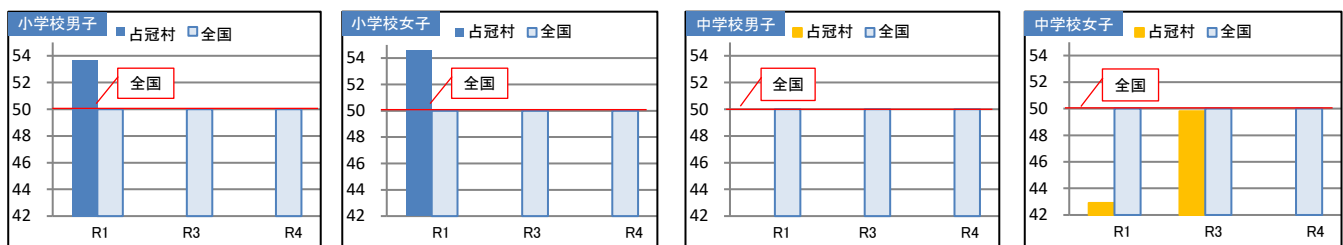
【小学校】



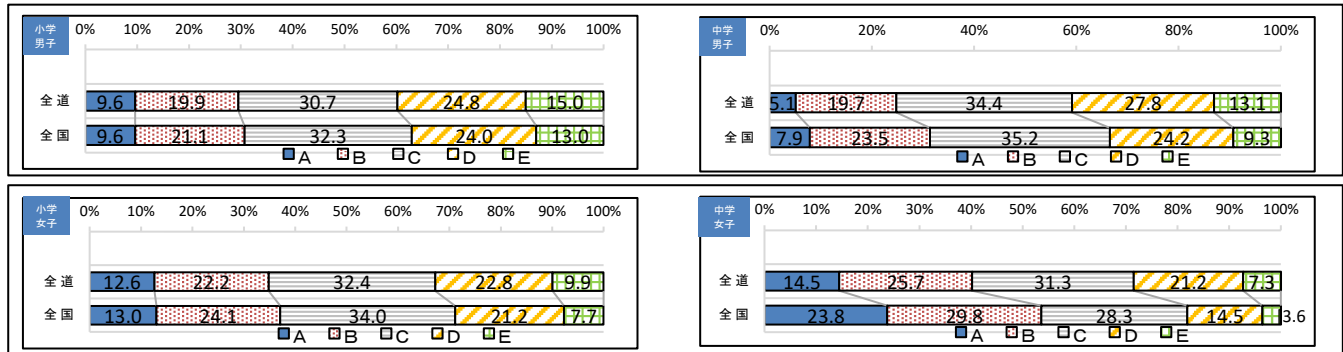
【中学校】



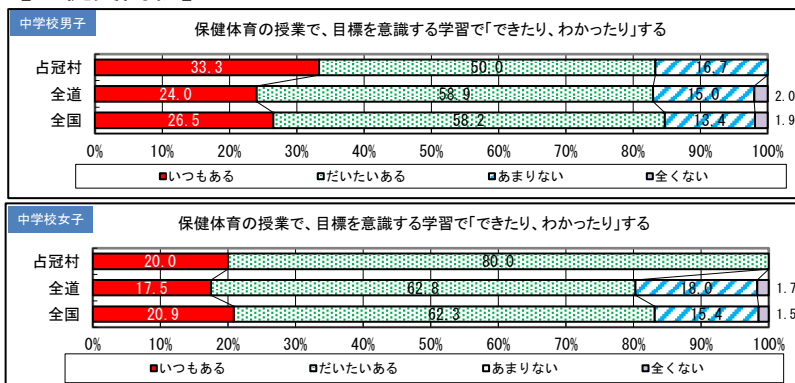
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】※5名以下の年は非表示



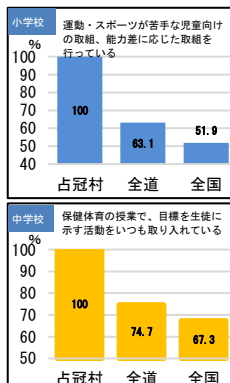
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
各学校において、体育の授業において運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行うことにより、体育の授業は楽しいと回答した児童が全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞
各学校において、保健体育の授業で目標を示す活動をいつも取り入れたことにより、保健体育の授業で目標を意識して学習することで「できたり、わかった」ことがいつもあると回答した生徒が多くなったと考える。

【占冠村の体力向上策】

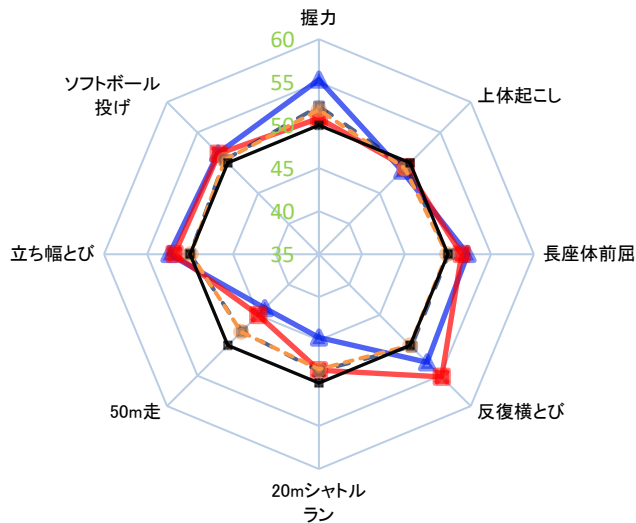
- ◎ 自ら進んで運動を楽しむことのできる環境を友達や教師と関わりあいながら整える。
- ◎ 教育目標をもとに、個々の実態にあった具体的且つ実現性のある継続性のある目標を設定する。
- ◎ 日常的に学校外でも運動を親しむよう地域、家庭と連携を図る。

■ 和寒町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数23名、中学校1校・生徒数26名)

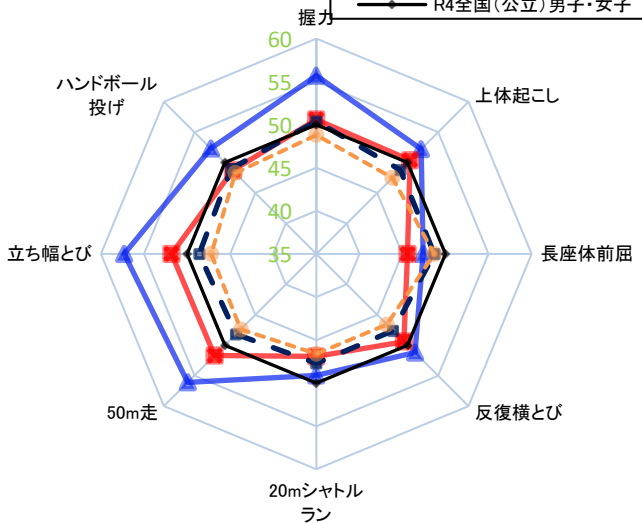
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

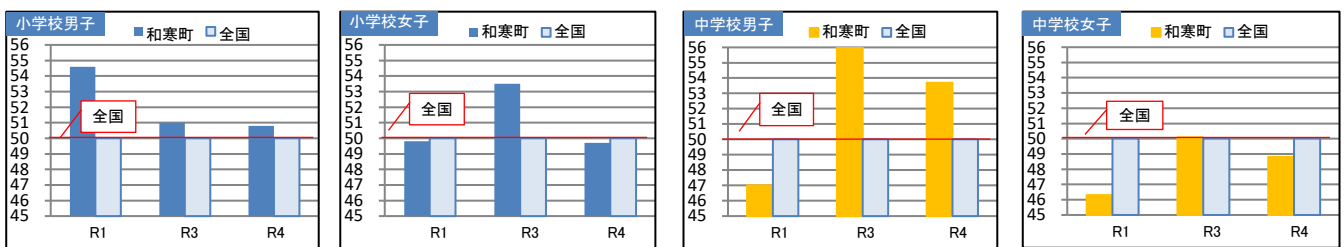
【小学校】



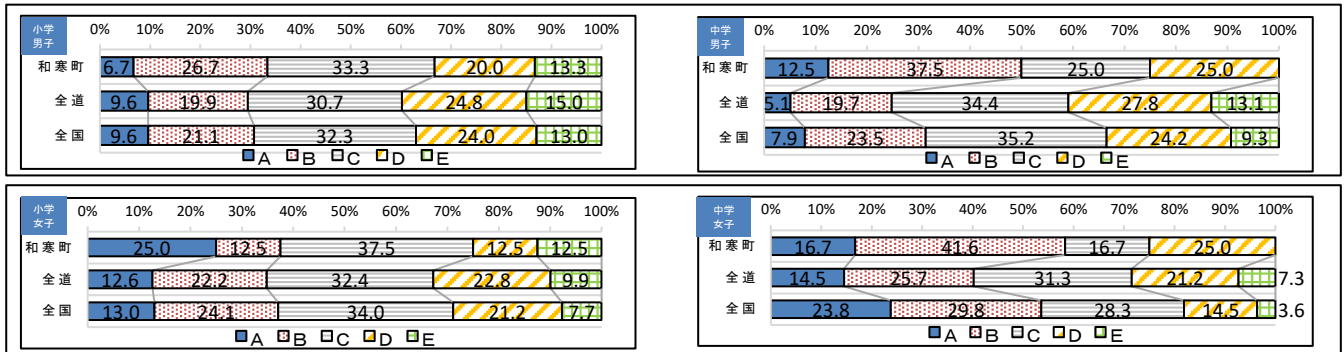
【中学校】



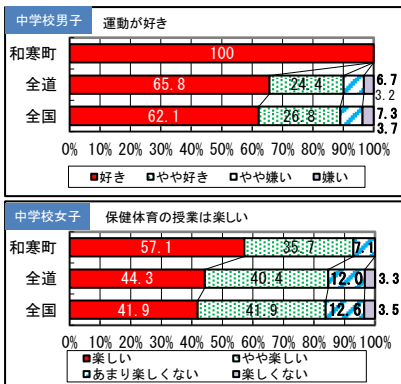
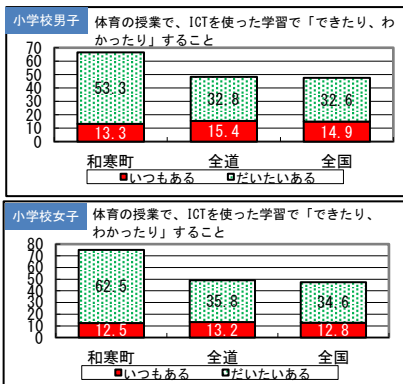
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



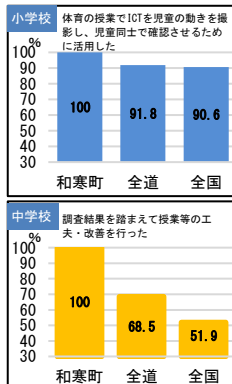
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
 体育の授業でICTを児童の動きを撮影し、児童同士で確認させるために活用したことにより、体育の授業でICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがあると回答した児童が全国平均以上となったと考える。

＜中学校＞
 調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、運動が好き、保健体育の授業は楽しいと回答した生徒が全国平均以上となったと考える。

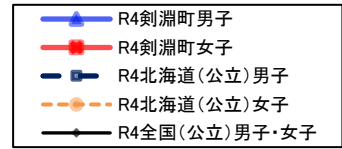
【和寒町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進(授業、業間活動、学校行事等)
- ◎ 「スポーツの町」宣言(39年目)～季節ごとのスポーツイベントの企画・実施(R4未実施の行事あり)
- ◎ 地域総合型スポーツクラブ「フレンドパーク」の実施(町教委主催、週1回実施)

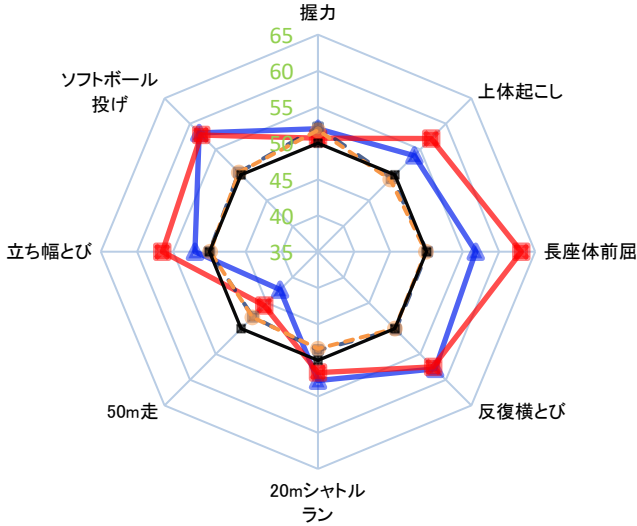
■ 剣淵町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数15名、中学校1校・生徒数12名)

【各種目の状況】

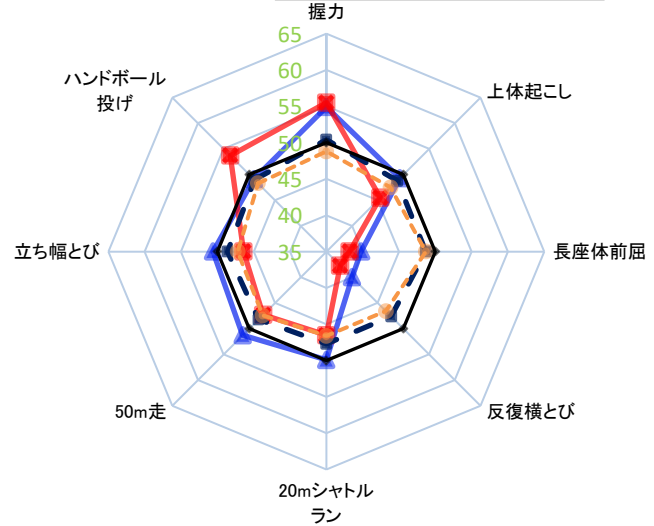
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



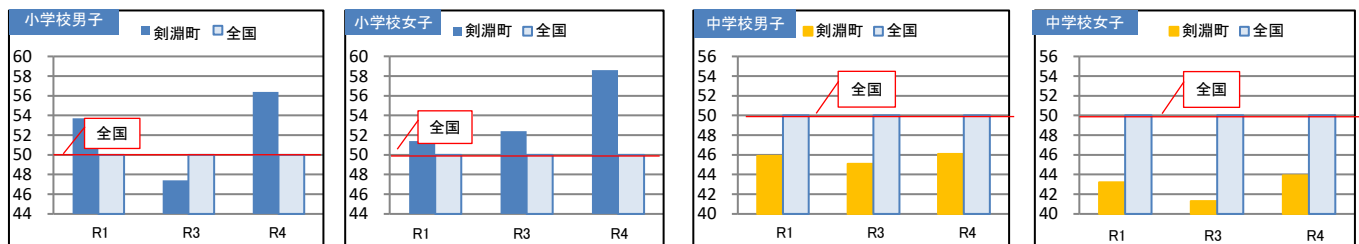
【小学校】



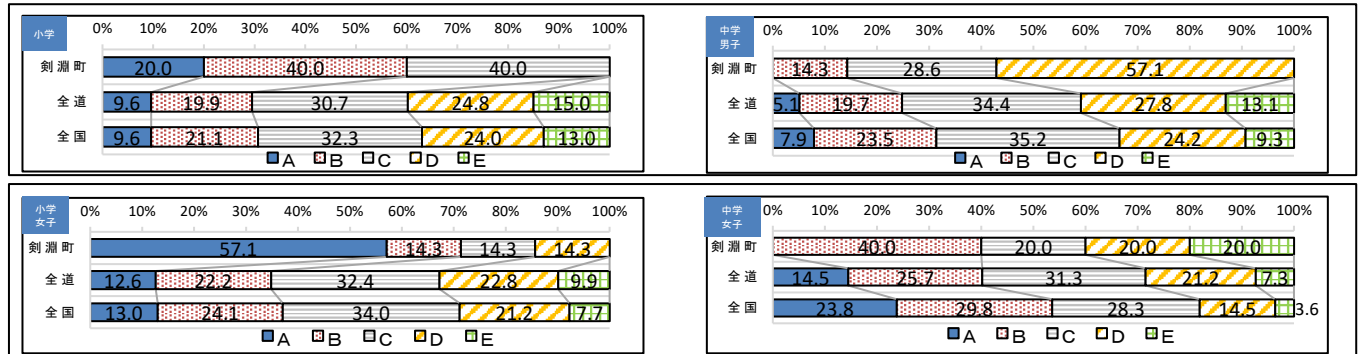
【中学校】



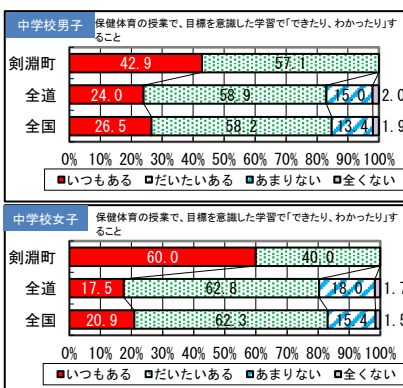
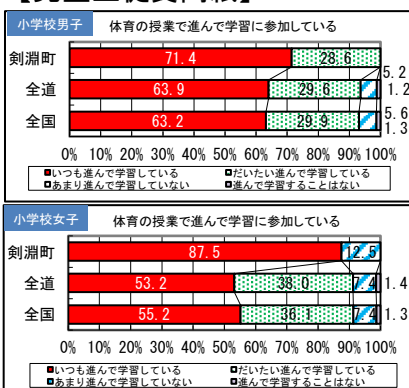
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



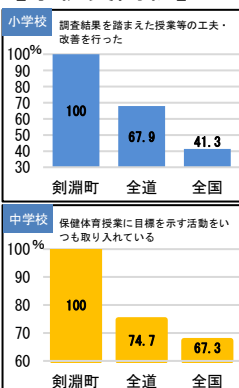
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>
調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、「体育の授業で進んで学習に参加している」と回答した児童が男女ともに全国平均を上回ったと考える。

<中学校>
保健体育授業に目標を示す活動をいつも取り入れたことにより、保健体育の授業で、目標を意識した学習で「できたり、わかったりする」ことがいつもであると回答した生徒が男女ともに全国平均を上回ったと考える。

【剣淵町の体力向上策】

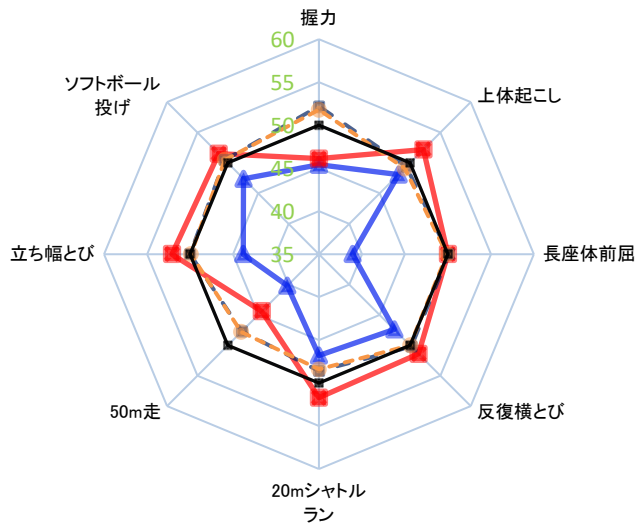
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 全学年における新体力テストの実施
- ◎ 学校ぐるみで運動に親しむための「体力向上1校1実践運動」の取組の推進
- ◎ 体力の向上を図る運動部活動や少年団活動の支援
- ◎ 体力向上を図る生徒会活動の推進(中学校)

■ 下川町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数12名、中学校1校・生徒数29名)

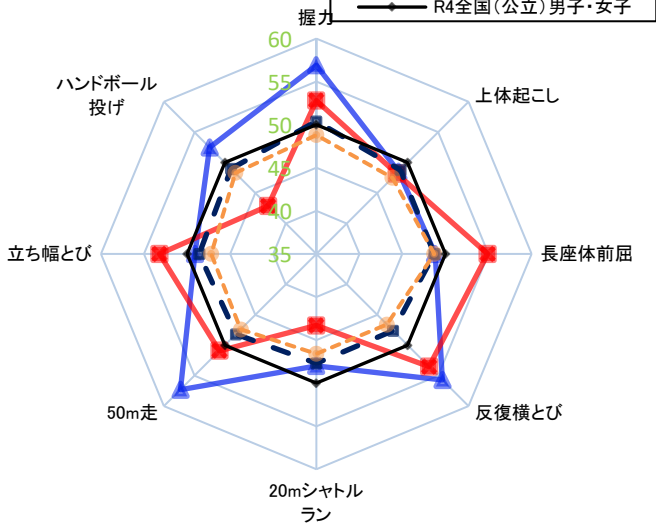
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

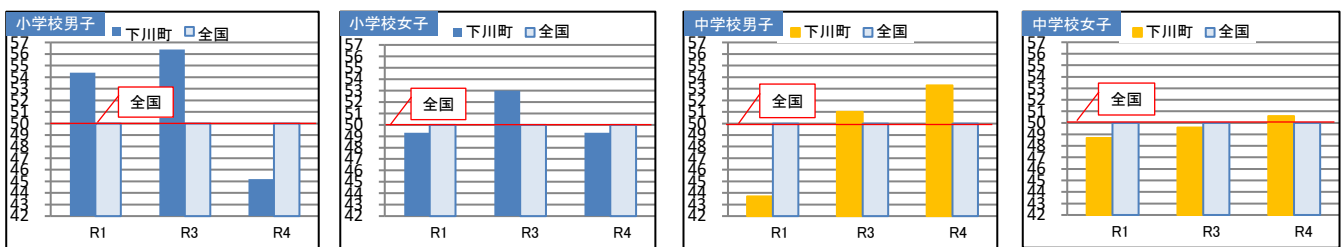
【小学校】



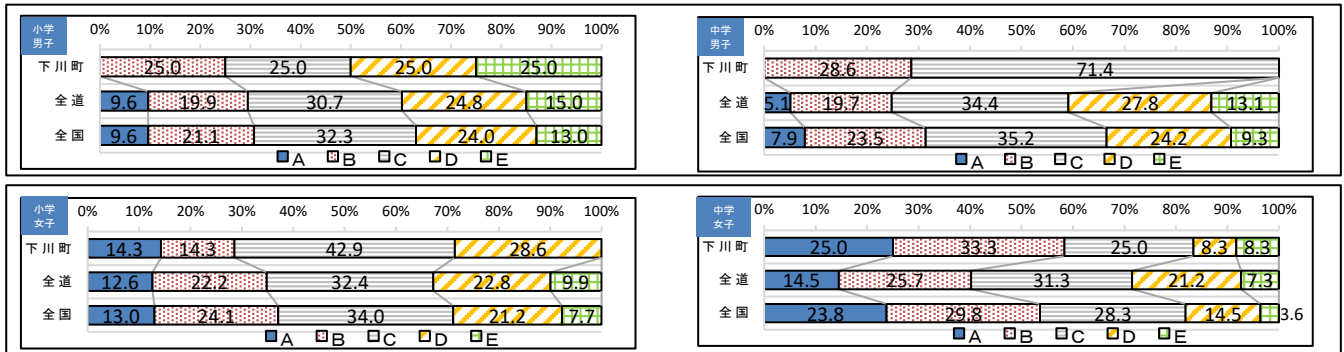
【中学校】



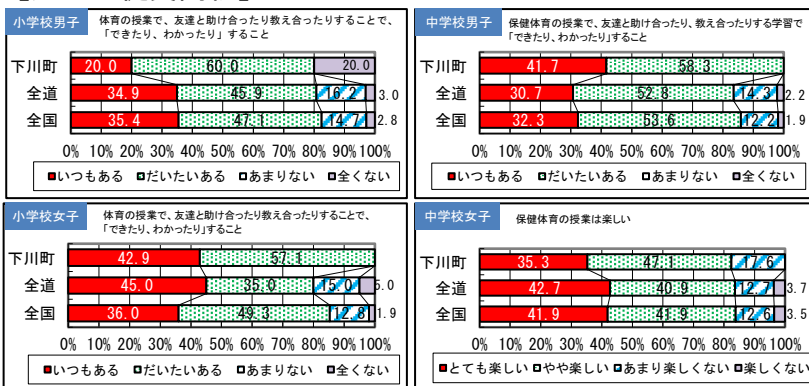
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



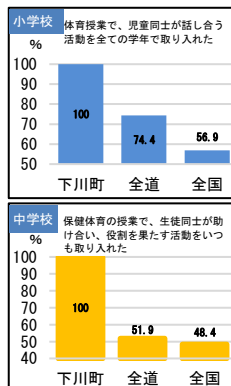
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
各学校において、体育授業で児童同士が話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、体育の授業で友達と助け合ったり教え合ったりすることで「できたり、わかったり」することがあると回答した児童が全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞
学校において、保健体育の授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れたことにより、保健体育の学習を楽しみ、さらに、友達と助け合ったり教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」と回答した生徒が多くなったと考える。

【下川町の体力向上策】

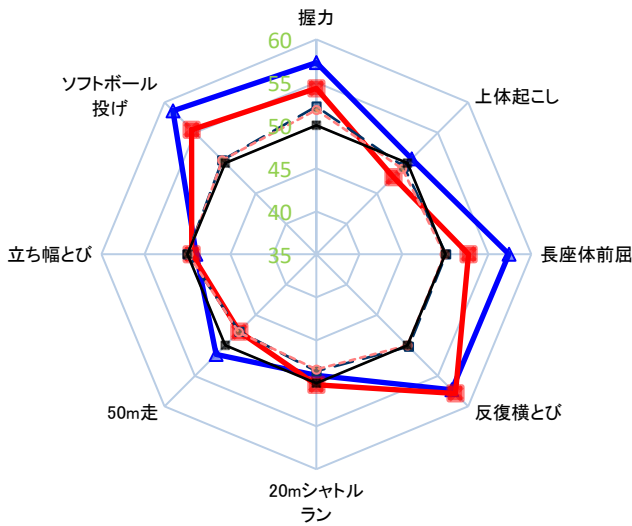
- ◎ 運動に親しむ環境づくりに努め、運動への関心を高め、運動への意欲を喚起し、資質・能力の向上を目指す
- ◎ 各種スポーツ少年団・部活動の全道・全国大会出場者への支援の充実を図る
- ◎ 小・中学校を対象とした放課後子ども教室において、子どもが楽しむことができる運動やスポーツプログラムの充実を図る

■ 美深町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数22名、中学校2校・生徒数27名)

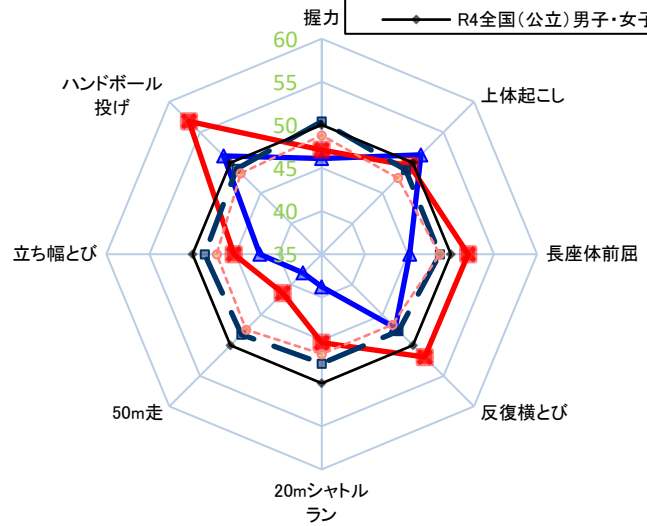
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

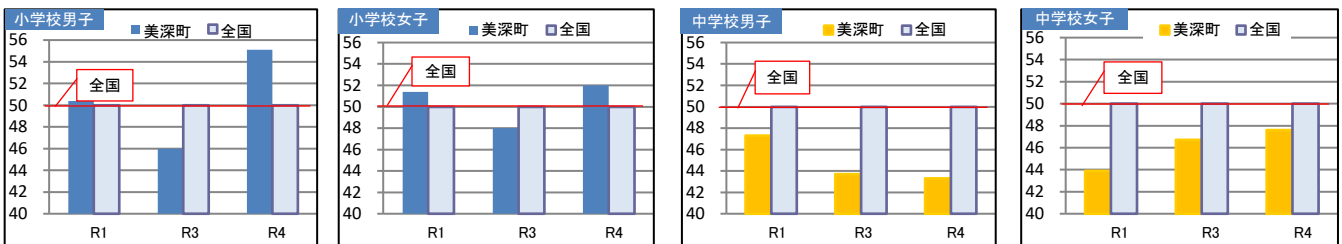
【小学校】



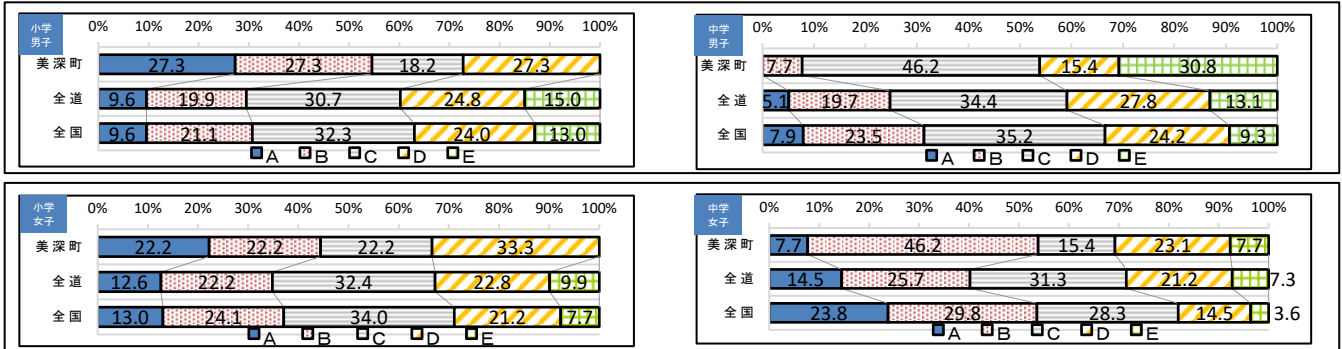
【中学校】



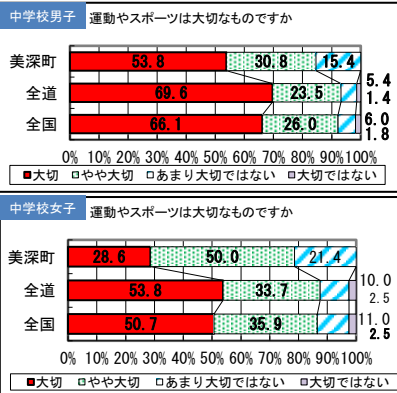
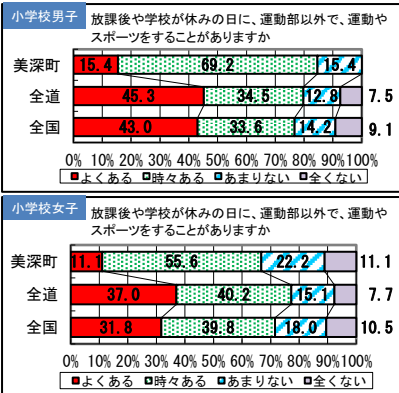
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



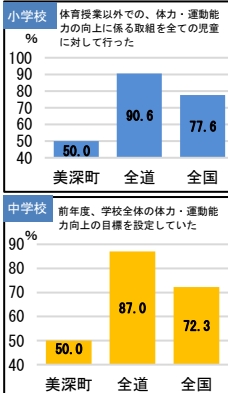
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
学校の授業以外のスポーツをする割合が、全国・全道を下回っている状況にある中、各学校においては運動やスポーツの大事さを引き続き体育授業等を通じて指導していく必要があると考える。

＜中学校＞
生徒の運動やスポーツを大切だと思意識が全道・全国を下回っている状況にある中、各学校において明確な体力・運動能力向上の目標設定をすることで、生徒に運動の重要性を認識させる必要があると考える。

【美深町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ スポーツ少年団活動や、びふかスポーツクラブのプログラムを通して誰もが運動に親しむことができるスポーツ環境づくりの推進
- ◎ 「こどもスポーツ文化・未来基金」を活用した児童・生徒のスポーツ活動の支援

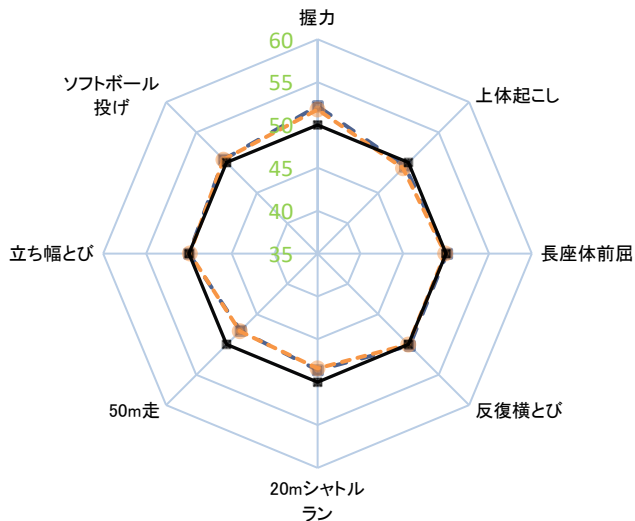
■ 音威子府村内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数1名、中学校1校・生徒数4名)

児童生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、音威子府村の各種目のデータは掲載していない

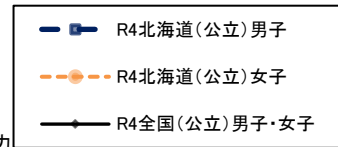
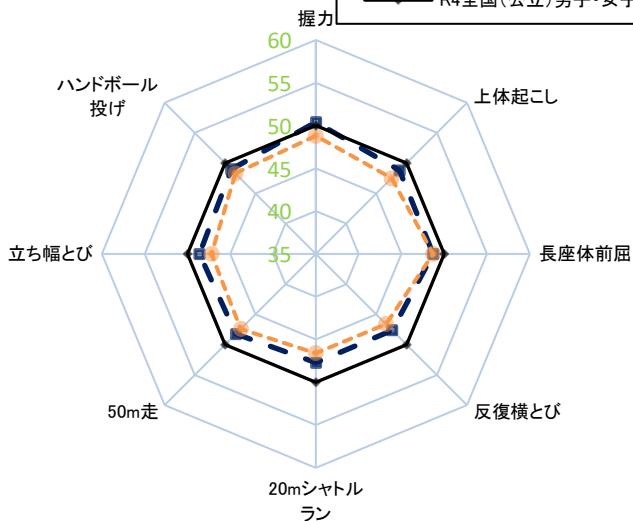
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

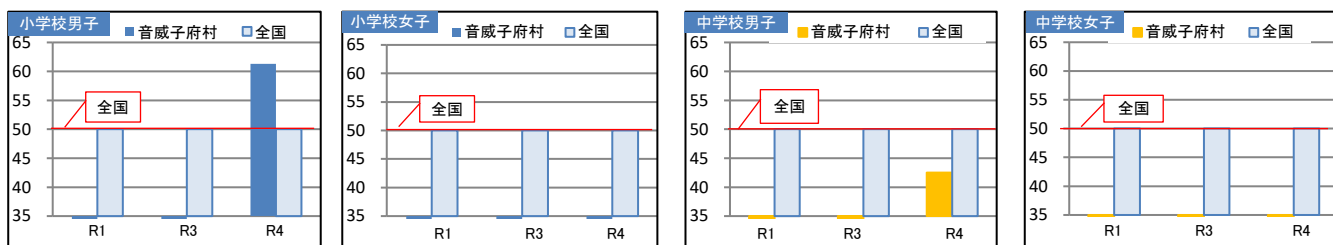
【小学校】



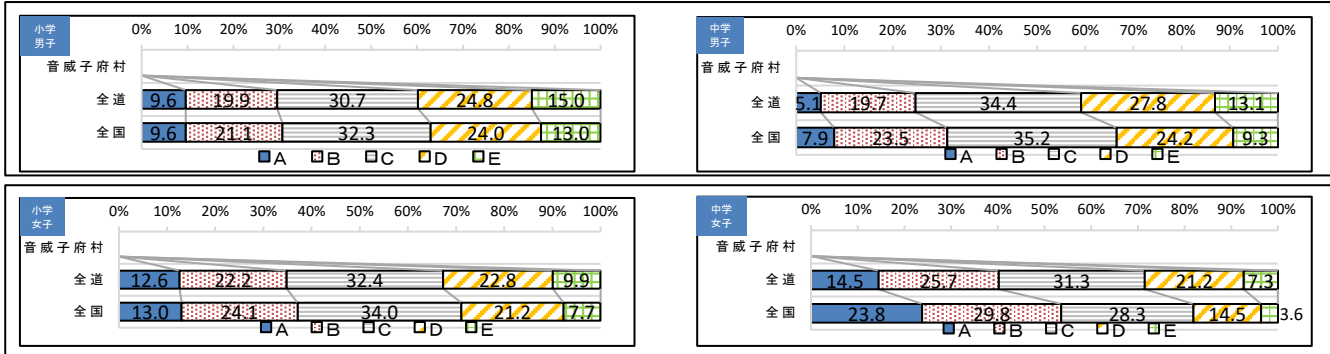
【中学校】



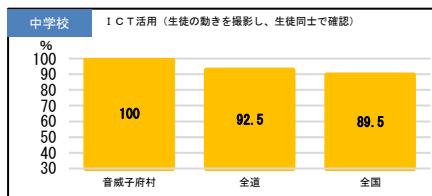
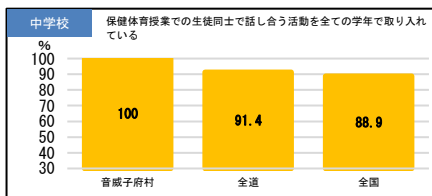
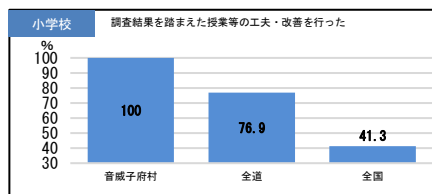
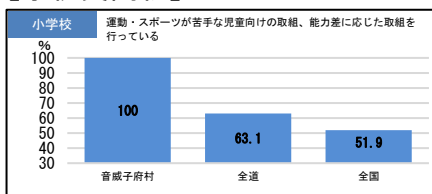
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】※児童生徒数が5名以下の年は非表示



【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】※児童生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため非表示



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組や調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、児童は、自分に合った練習の方法で「できたり、わかったり」することがいつもあると捉えている。

＜中学校＞
保健体育授業での生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたり、ICT活用として、「以前に撮影した動きと比較し、変容を確認すること」を行ったりしたことにより、生徒は、「友達と一緒にできるから」体育が楽しいと捉えている。

【音威子府村の体力向上策】

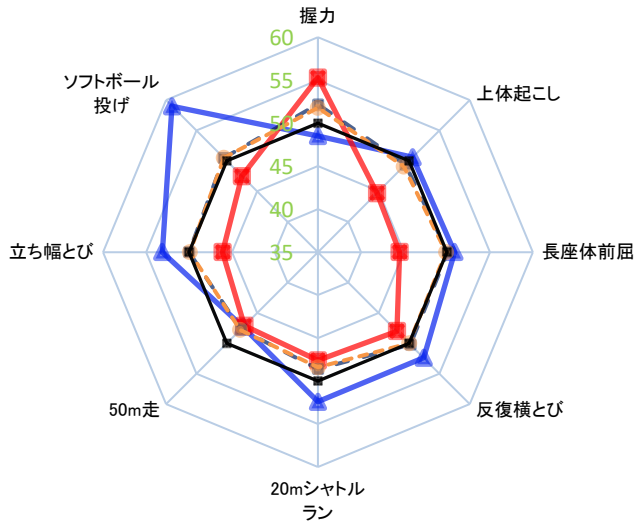
- ◎全校児童生徒が行った体力テストの結果を基にした体力向上策の検討及び共通理解
- ◎小学校における縄跳び検定や休み時間のボール遊びの推進
- ◎中学校の体育授業の「常時活動」における身体の各機能の動きを養う動き(走・跳)の継続的な取組

■ 中川町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数14名、中学校1校・生徒数8名)

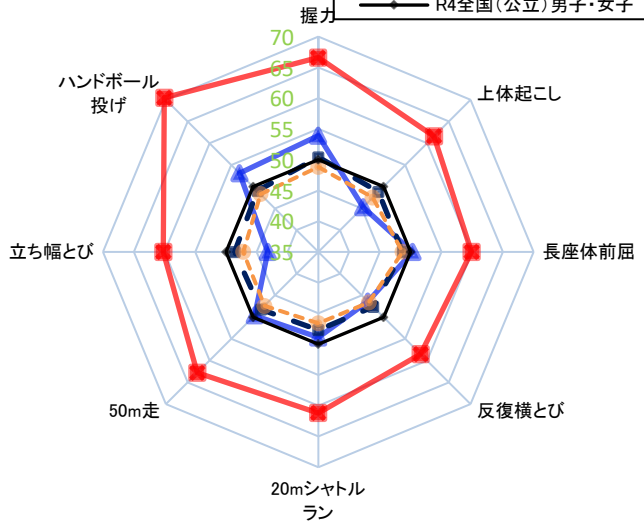
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

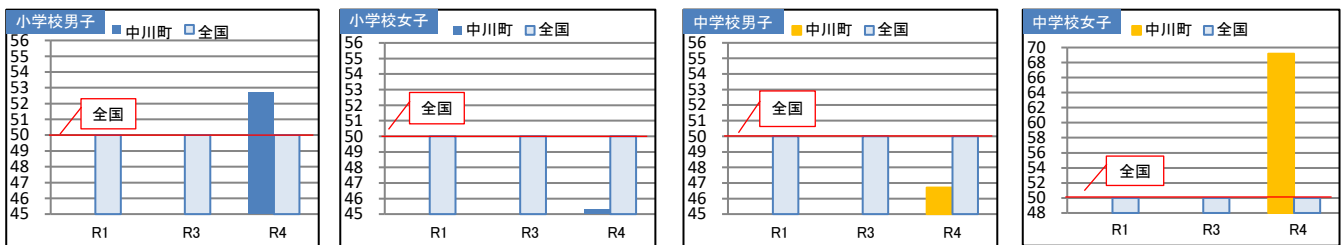
【小学校】



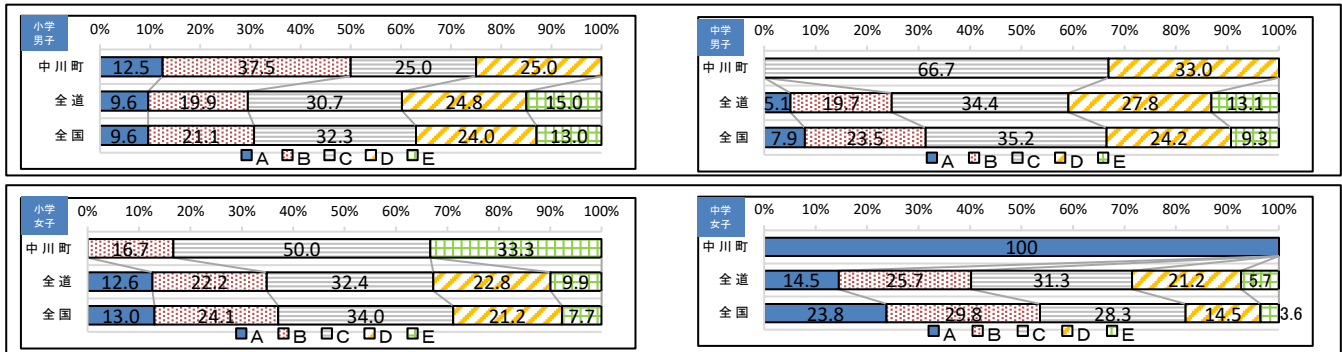
【中学校】



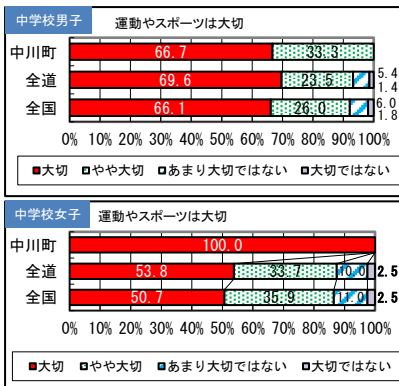
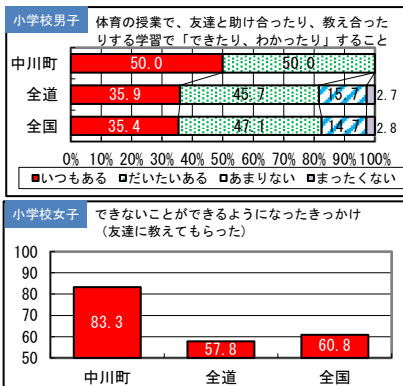
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



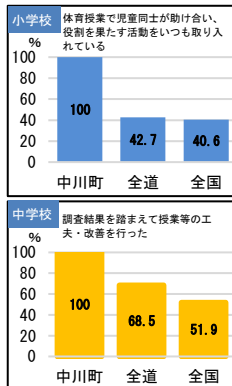
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞
体育授業で児童同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れたことにより、「できたり、わかったり」することがある」「友達に教えてもらったことができるようになった」と回答した児童が全国平均以上となったと考える。

＜中学校＞
調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、運動は大切と回答した生徒が全国平均以上となったと考える。

【中川町の体力向上策】

- ◎ 健康でたくましい心と体を育む「体力強化月間」におけるマラソン、縄跳び、コーディネーショントレーニングなどの取組みの推進
- ◎ 体力の向上を図る少年団活動及び学校部活動の支援
- ◎ 小中学校間の連携を図り、コーディネーショントレーニングを体育科、保健体育科の授業に取り入れ、運動学習能力を高め、身体能力及び集中力等の向上を図る取組の推進

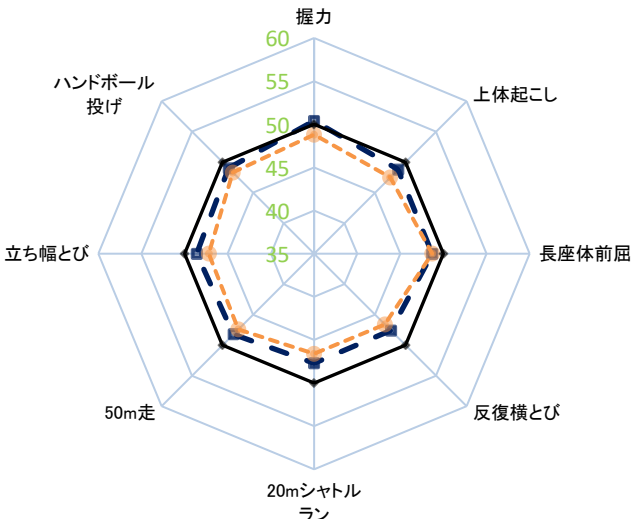
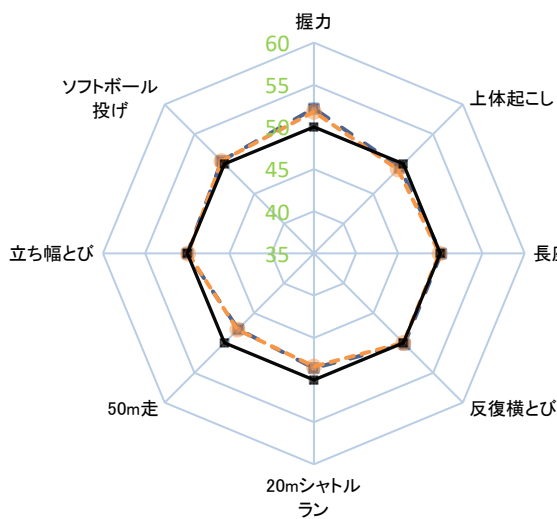
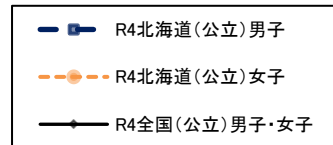
■ 幌加内町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数3名、中学校1校・生徒数8名)
 児童生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、幌加内町の各種目のデータは掲載していない

【各種目の状況】

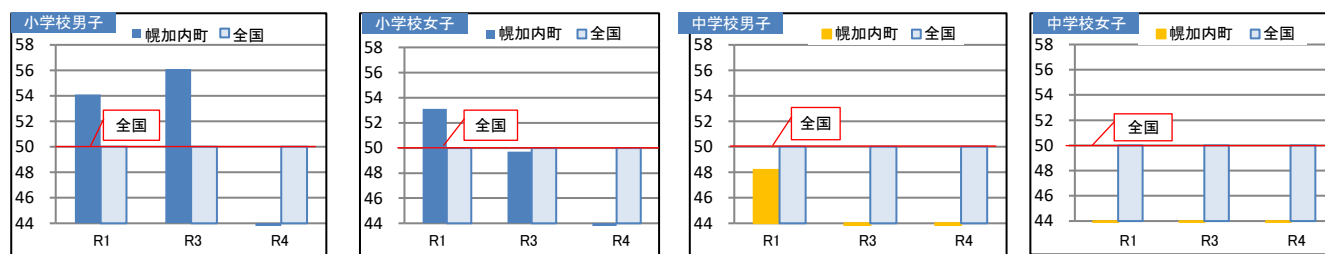
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

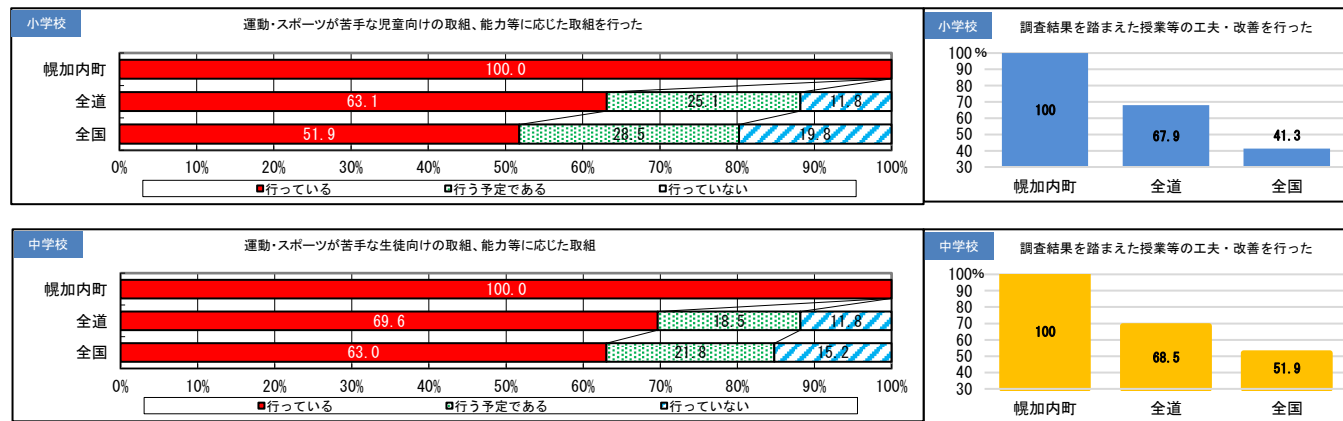
【中学校】



【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】※児童生徒数が5名以下の年は非表示



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>

<中学校>

各学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善や運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力等に応じた取組を行ったことにより、体育の授業が楽しいと感じる児童が増えている。

学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善や運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力等に応じた取組を行ったことにより、保健体育の授業が楽しいと感じる生徒が増えている。

【幌加内町の体力向上策】

- ◎ テニス・水泳など学校ではできないスポーツの講習会開催による運動に対する意欲向上の取組
- ◎ スキー連盟指導員会と連携した地域の自然環境に関わりの深いスキー教室の開催